

ハイブリッド蓄電システム

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット 取扱説明書



パワーコンディショナ	: ES-E2J
蓄電池ユニット (7.4 kWh, 14.9 kWh)	: ES-DYMJ
室内リモコン	: ES-R8J
システム機種名	
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (7.4 kWh)	: ESS-E2MJ
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (14.9 kWh)	: ESS-E2XJ

このたびは、ハイブリッド蓄電システムをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。







ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害の発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

 アース線接続	*必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示	 感電注意	*感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
 禁止	*一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	 分解禁止	*分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
 注意	*一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示	 高温注意	*高温注意 特定条件においてやけどに対する注意を促す通告

警告

 注意	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する 適切な施工・処置がなされない場合、感電や火災のおそれがあります。	 感電注意	災害などにより本システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本システムに近づかない 感電、有害ガスの発生、発熱、発煙、発火、蓄電池ユニットからの電解液が漏れるなどの危険がありますので、「ハイブリッド蓄電システムを停止させる場合」(47ページ)に従ってハイブリッド蓄電システムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。
 分解禁止	付属品やオプション品などを含め、本製品を分解・改造しない 感電や傷害を負うおそれがあります。	 禁止	コンセントに金属、紙、水などを差し込んだり、中に入れたりしない 火災・感電・故障のおそれがあります。
 禁止	子供を近づけない 感電・やけどのおそれがあります。	 禁止	たたく、蹴るなどして強い衝撃を与えない 変形により短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。



禁止

放熱口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れてたりしない
火災・感電・故障の原因となります。



分解禁止

蓄電池ユニット、パワーコンディショナのフロントパネルなど機器を開けない
内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。



注意

子供に操作させない
感電、やけど、火災のおそれがあります。



禁止

付属品やオプション品などを含め、本製品の上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を置かない
機器の変形や脱落などにより、けが・感電・故障のおそれがあります。



感電注意

本製品をぬれた手でさわると、ぬれた布でふくなどしない
感電のおそれがあります。



感電注意

自動開閉器（自動切替開閉器）やパワーコンディショナが接続されたブレーカ（ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ）等の端子台に触れない
感電のおそれがあります。



高温注意

パワーコンディショナの「高温部火傷注意」と記載されたラベルが貼ってある天面とその周囲には触れない
やけどのおそれがあります。



禁止

蓄電池ユニット、パワーコンディショナの近くでガソリンやベンジンなどの揮発性溶剤を使用しない
火災・故障のおそれがあります。



禁止

蓄電池ユニット、パワーコンディショナの近くに腐食性ガスが発生するものを置かない
腐食性ガスにより、火災・感電・故障のおそれがあります。



注意

異音や異臭がする場合や煙が出ている場合は、本製品には近づかず、専用アプリや室内リモコンで本システムの運転を停止し、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする
そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに買い上げの販売会社にご連絡ください。



感電注意

蓄電池ユニットに高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する
ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。十分注意してください。



禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない
機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよびICDの動作に一時的な影響を与える場合があります。



禁止

自立運転時に灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものを接続する場合は、安全を確認してから行う
災害による自立運転時の場合は、接続すると火災の原因になることがあります。接続する際は、安全を確認しながらご利用ください。



禁止

自立運転時は、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない
夜間や曇りなどで太陽光発電電力または蓄電池ユニットの電力が不足するとハイブリッド蓄電システムは停止し、家電製品の電源が切れますので、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器（医療機器など）には絶対に使用しないでください。

⚠ 注意



アース線接続

アース工事を行う
アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事については必ず買い上げの販売会社にご相談ください。



禁止

シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
製品の変色原因となります。



禁止

製品に殺虫剤・除草剤をかけない
製品の変色、破損の原因となることがあります。



禁止

パワーコンディショナの放熱口を塞いだり放熱口付近に荷物を置いたりしない
温度上昇によりハイブリッド蓄電システムが自動停止する可能性があります。



禁止

ご利用中に室内リモコンの電源スイッチをOFFにしない
蓄電池ユニットが充電されないため過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。



禁止

蓄電池ユニット、パワーコンディショナの近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない
引火し、やけど・火災の原因となることがあります。なお、プロパンガスを設置されている場合は、業者の指示に従い対応してください。



注意

取扱説明書を熟読する
ご使用される前には取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。



禁止

本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。受信している電波が弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



注意

本システムや太陽光発電パネルの配線などから発生する電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。



注意

蓄電池ユニットの周りに毛布など置かないようにし、離隔距離を確保する

蓄電池ユニットが高温になり、動作が停止する、または寿命が短くなる可能性があります。



禁止

点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない

蓄電池ユニットが充電されないため過放電の状態となる場合があります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。



注意

植物などが製品の放熱口から内部に侵入しないように、日常点検を行う

温度上昇によりハイブリッド蓄電システムが自動停止、または破損の可能性がります。



注意

ソフトウェアの更新が専用アプリや室内リモコンの画面に表示されたら、必ずすぐに更新する

ソフトウェアの更新にはインターネットへの接続が必要です。



注意

動物の排泄物等が付着することがないように、日常点検を行う

錆などの腐食が促進され、製品倒壊の原因となる場合があります。



注意

降雪や落雪などでパワーコンディショナの放熱口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う

温度上昇によりハイブリッド蓄電システムが自動停止する可能性があります。



注意

製品に植栽などの土がかからないようにする

錆などの腐食が促進され、製品倒壊の原因となる場合があります。



禁止

停電時の本製品では、負荷によって使用できないものがある

ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。



注意

廃棄処理・リサイクルについて

本製品の使用を終了した後は、適切な方法ですみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。

使用上のご注意

本システムはインターネットへ接続することで、専用アプリ（スマートフォン）からの操作やインターネット経由での見守りサービスなどを利用することができます。インターネットへの接続にあたっては、以下の点にご注意ください。

インターネット接続に関するご注意

- ルーターなどのインターネット接続用機器を使用する際は、通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定（暗号化設定）を行ってください。
認証・暗号化設定は、暗号化ありの設定を推奨します。詳しくは各機器の説明書を参照してください。
- セキュリティ設定は、お客様ご自身の判断で行ってください。
 - セキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 各機器の設定や使用方法などに関するお問い合わせについては、当社ではお答えできません。詳しくは各機器のメーカーにお問い合わせください。
- ネットワークセキュリティに関する技術情報については、当社ではお答えできません。
- 当社は DDoS 攻撃（分散型 DoS 攻撃）、コンピューターウイルスその他技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、当社商品、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他費用について一切責任を負わないものとします。
お客様ご自身にて (1) アンチウイルス保護、(2) データ入出力、(3) 紛失データの復元、(4) 当社商品またはインストールされたソフトウェアに対するコンピューターウイルス感染予防、(5) 当社製品に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。
- インターネット接続に関するプロバイダーなどのご契約はお客様ご自身でお願いします。

インターネットセキュリティに関するご注意

セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、本システムをご使用になる前に各機器の取扱説明書に従ってセキュリティに関する設定を必ず行ってください。

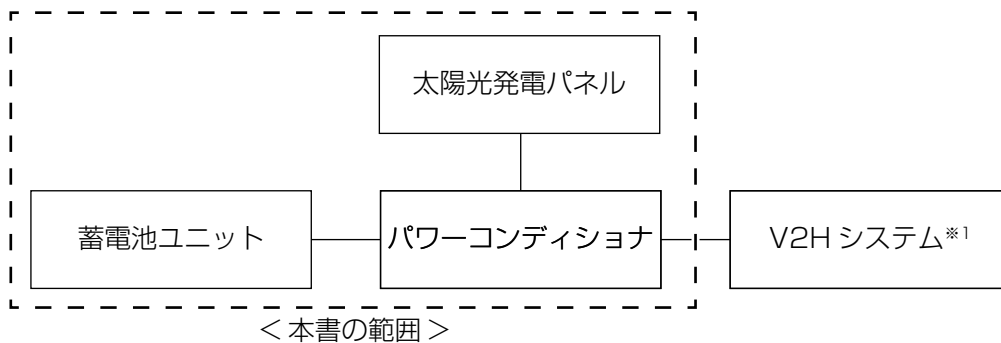
- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID、パスワード、通信画像やEメールなどの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）、などの行為をされてしまう可能性があります。

本件のために生じた損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書について

本書で用いる用語は以下のとおりです。

ハイブリッド蓄電システム	: パワーコンディショナ・蓄電池ユニット・太陽光発電パネルを連携させて動作する蓄電システム
太陽光発電	: 太陽光のエネルギーを電力に変換し供給する動作
PV	: 太陽光発電パネルもしくはそれを含む太陽光発電システムを指す略称
車両	: 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車など、駆動用に蓄電池を備えた自動車
系統	: お客さまが契約している電力会社との間で、電力を買電または売電するための送電線
自動運転モード	: 設定された時間帯の中で、家庭内への電力供給および蓄電池ユニットへの充電を自動で行う動作
充電	: 太陽光発電または系統の電力を蓄電池ユニットに蓄える動作
放電	: 蓄電池ユニットに蓄えている電力を供給する動作
給電	: 太陽光発電や蓄電池ユニットに蓄えられた電力をご家庭に供給する動作
専用アプリ	: 本システムを操作するための専用アプリケーション
通知	: 本システムの動作に関する情報をスマートフォンで受信する機能



※ 1: V2H システムは、ニチコン社製 [VSG3-666CN7] に限ります。V2H システムについては、V2H システム取扱説明書を参照してください。

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
本書について	5
電気の「家産家消」、もしもの「災害対策」	9
構成例	10
取り扱い上のお願い	11
設置場所について	11
離隔距離について	12
パワーコンディショナ (ES-E2J)	12
蓄電池ユニット (ES-DYMJ)	12
外形寸法図 / 各部名称	13
パワーコンディショナ (ES-E2J)	13
蓄電池ユニット (ES-DYMJ)	13
自動開閉器 (ES-B9E)	14
室内リモコン (ES-R8J)	14
ハイブリッド蓄電システムの専用アプリについて	15
専用アプリの接続方式について	15
ルータ有線接続	15
専用アプリの設定について	16
専用アプリ / 室内リモコンの表示や画面構成について	18
通常時の使い方	21
蓄電池ユニットの各運転モードについて (連系時)	21
自動運転モード	21
蓄電池充電	22
放電中の動作について	22
蓄電池ユニットの運転モードを選ぶ (連系時)	23
蓄電池ユニットの充放電時刻を変更する	24
蓄電池ユニットの各種設定について	26
蓄電池ユニットの各種設定を設定する	27
各グラフについて【専用アプリのみ】	28
グラフを表示する【専用アプリのみ】	29
発電抑制の履歴を表示する【専用アプリのみ】	30
機器情報について	31

機器情報を確認する	33
太陽光発電設定について	34
太陽光発電設定を確認する	35
操作音を設定する【室内リモコンのみ】	36
停電時の使い方（自立運転）	37
蓄電池ユニットの各運転モードについて（停電時）	37
停電時の家電製品の使い方について	38
停電時にご利用できる家電製品の目安	39
復電時の操作	39
ネットワークサービス	39
ネットワークの設定【室内リモコンのみ】	40
ネットワークの設定をする【室内リモコンのみ】	41
ネットワークの通信状態について	41
ネットワークの通信状態を確認する	42
こんなときは	43
ブザー音や異音について	43
動作がおかしいと感じたとき	43
ブレーカが頻繁に落ちる場合	43
契約電力を変更する場合	43
停電時に家電製品が使用できない場合	43
室内リモコンの画面が表示されない場合	43
100%まで充電できない場合	43
蓄電池ユニット (ES-DYMJ) を後から増設した場合	44
太陽光発電電力で充電できない場合	44
夏季に充放電・発電動作が停止した場合	44
蓄電池ユニットが充放電できない場合	44
停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合	44
専用アプリが通信失敗した場合	44
室内リモコンがネットワークに接続できない場合	45
その他ご使用に関する操作方法等	45
停電発生時の動作を変更したい場合	45
長期不在の場合	46
ハイブリッド蓄電システムを停止させる場合	47
ハイブリッド蓄電システムを起動させる場合	49
低温時の動作について	50
点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき	51
スマートフォンの通知で点検コードを受信したとき	51
点検コードのメッセージと処置	52
点検コード「BE303」、「BE304」について	55
点検コード「BF405」について	56
点検コード「BF404」について	56

点検コード「BF306」について	56
点検コード「BI691」、「BI694」について	57
点検コード「BI692」について	57
点検コード「BI693」について	57
お知らせリストを表示する	58
お知らせメッセージと内容など	59
点検コード「BC551」について	60
点検コード「BC562」について	60
室内リモコンが動かなくなったとき【室内リモコンのみ】	61
ハイブリッド蓄電システムを廃棄する場合	61
風水害または地震などの対応	61
蓄電池ユニットのメンテナンスモード（自動点検）について	62
ソフトウェアの更新	64
保証とアフターサービス	65
保証について	65
アフターサービスについて	65
補助金に関するご注意	65
購入時に補助金の交付を受けた方	65
遠隔出力制御ルールに関するご注意	66
仕様	67
パワーコンディショナ	67
蓄電池ユニット	68
蓄電池ユニットの充放電仕様について	68
自動開閉器（自動切替開閉器）	68
室内リモコン	68
ハイブリッド蓄電システムの使用温度範囲について	69
ソフトウェアライセンスについて	69
増設設置の可能期間	69

電気の「家産家消^{※1}」、もしもの「災害対策」

本製品は、住宅の屋根などに設置した太陽光パネルと蓄電池ユニットを併用して、暮らしに必要な電気を供給する「ハイブリッド蓄電システム」です。

多彩な太陽光発電と連携。蓄電池と太陽光のパワーコンディショナを一体化

パワーコンディショナ内に蓄電池ユニットの制御だけでなく、太陽光発電用のパワーコンディショナ機能を内蔵しています。

いつもの生活では「節約」！

昼間の太陽光発電を蓄電池ユニットに貯めて^{※2}、夜間や天気が悪い日などに活用することで、エネルギーの自給自足に貢献します。(グリーンモード)

割安な深夜電力時間帯に系統から充電し、太陽光パネルが発電している時間帯は余剰電力を売電、発電していない時間帯は蓄電池ユニットから放電します。(売電モード)

日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。

もしもの停電時も「安心」！

本システムは非常時でも家庭内へ電力を供給するために電力をバックアップします。突然の停電でも本製品に接続している家電製品は、そのままご利用いただけます^{※3}。

- 昼間の晴天時は、太陽光発電と蓄電池ユニットを併用して電力供給します。
- 雨や曇りの日、夜間の停電でも電力を蓄えていた蓄電池ユニットから電力を供給します。

停電への備え

本製品は、停電が発生した場合への備えとして以下のような機能を搭載しています。

- 「蓄電池放電下限値(非常時安心設定)」設定(26ページ)
停電が発生した場合に備えて、設定した割合の電力を蓄電池ユニットに残しておく機能です。高い数値に設定すると停電時に多くの電力を供給することができますが、通常時に蓄電池ユニットからの電力供給が少なくなり経済性が下がりますのでご注意ください。
- 運転モード「蓄電池充電」設定(22ページ)
設定すると、蓄電池ユニットが満充電になるまで充電を行います。台風の接近時などで蓄電池ユニットに電力を確保しておきたいときにご利用ください。なお、設定後に蓄電池ユニットが満充電になってから6時間が経過すると、蓄電池充電が設定される直前の自動運転モードで動作します。

スマホ&室内リモコンで操作可能^{※4}

専用のスマホアプリに対応しており、太陽光の発電電力、蓄電池ユニットの充放電電力など一目で確認することができます。また、付属のリモコンでの操作も可能です。

見守りサービス^{※5、※6}

お客様が長期にわたって安心してご利用いただけるように、インターネット経由で運転状態を無償でモニターします。詳しくは、「ネットワークサービス」(39ページ)を参照してください。

- ※1: 家で作った電気を家で使うことを指すニチコン株式会社の造語です。
- ※2: 太陽光の発電電力およびご家庭の消費電力によっては、蓄電池ユニットへの充電電力が確保できない場合があります。
- ※3: 停電時には、電力供給が一瞬途切れます。本製品に接続している家電製品の仕様によっては電源が切れますので、その時は電源を入れ直してください。電源が切れると支障がある場合は、本製品に接続しないでください。なお、蓄電池ユニットがない場合は、太陽光発電パネルが発電している場合に限り本製品をご利用いただけます。
- ※4: パワーコンディショナ、蓄電池ユニットのソフトウェアを最新にするために、自動的にソフトウェアの更新を行うことがあります。
- ※5: インターネットに接続すると、ニチコン見守りサービスのサーバーに自動的に接続します。インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。
- ※6: 本製品の保証期間中は見守りサービスを利用することができます。保証期間以降のサービスの提供については、予告なく終了する場合があります。

取り扱い上のお願い

設置場所について

本製品の設置場所について、以下の状態であることを確認してください。また、設置後も状態を維持できるよう、定期的に入入れをするようにしてください。

共通

■次のような場所には取り付けない

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット（屋外設置）

- 屋内
- 標高 2000 m より高いところ
- 岩礁隣接地域
- 重塩害地域
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 油蒸気のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 車両と接触するおそれや、排ガスが直接あたるところ
- 風通しが悪いところ（物置、倉庫、シャッター付きの車庫を含む）
- 販売会社で決められていないところ^{*1}
- 日射が長時間当たるところ



禁止

室内リモコン・蓄電池ユニット（屋内設置）

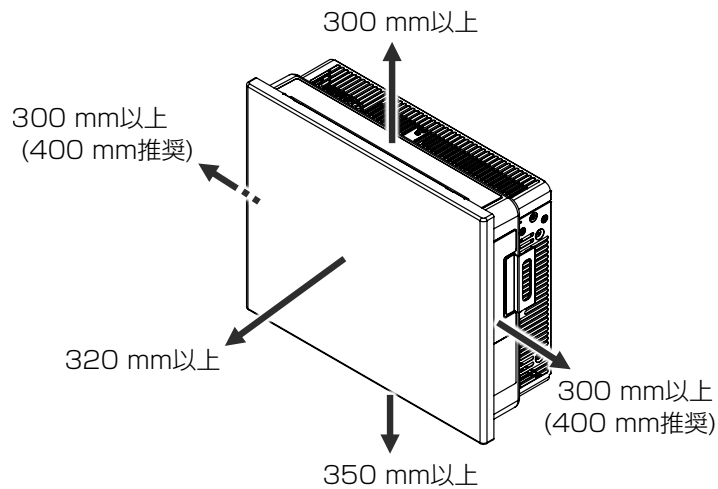
- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ

※ 1: 設置条件を満たしていない場合、点検・修理等を行う際に足場の設置などの対応費用を請求する場合があります。

離隔距離について

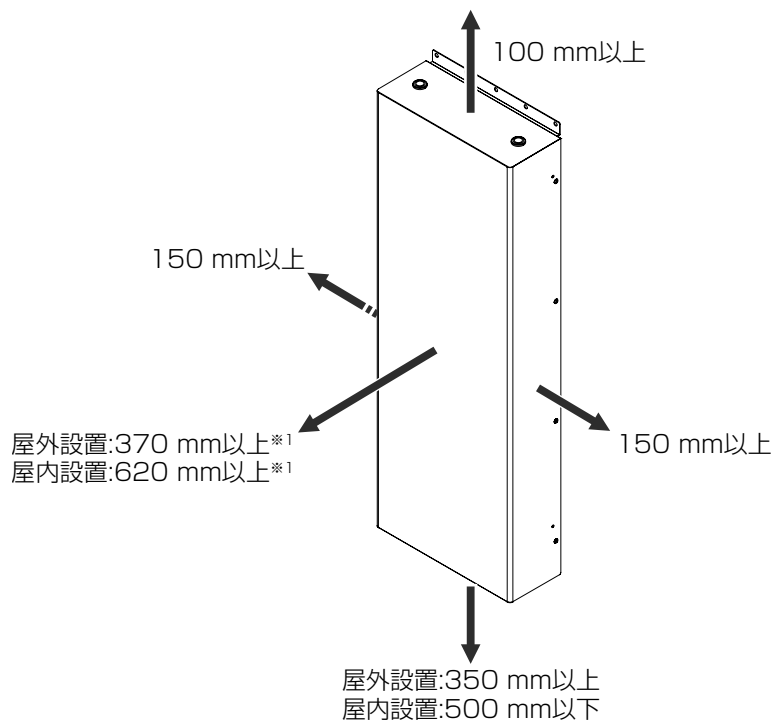
パワーコンディショナおよび蓄電池ユニットは、排熱とメンテナンスのために、以下の寸法以上の距離を確保してください。また、それらの妨げにならないよう、離隔距離範囲内には物を置かないでください。

パワーコンディショナ (ES-E2J)



左右 : それぞれ 300 mm 以上 (400 mm 推奨)
上 : 300 mm 以上
前 : 320 mm 以上
下 : 350 mm 以上

蓄電池ユニット (ES-DYMJ)

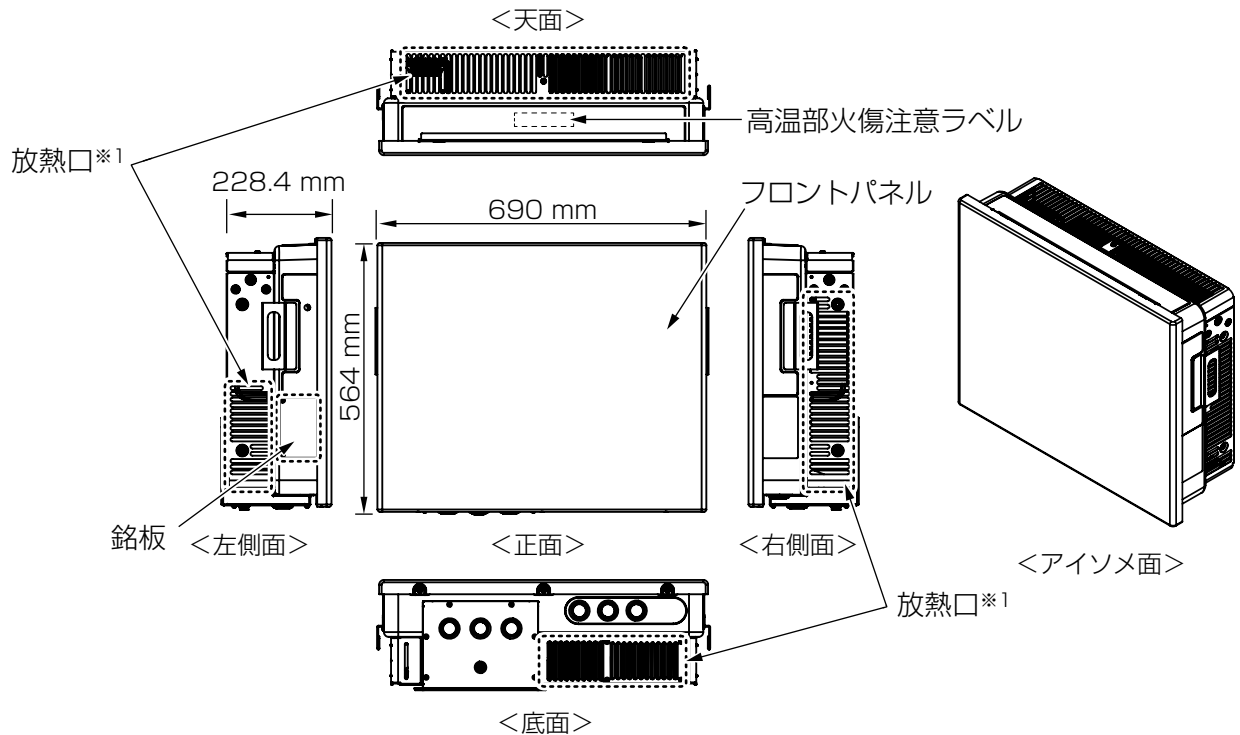


- 屋外設置の場合
左右 : それぞれ 150 mm 以上
上 : 100 mm 以上
前 : 370 mm 以上*1
下 : 350 mm 以上
- 屋内設置の場合
左右 : それぞれ 150 mm 以上
上 : 100 mm 以上
前 : 620 mm 以上*1
下 : 500 mm 以下

※ 1: 扉などの開放により距離を確保できる場合は最短 40 mm となります。

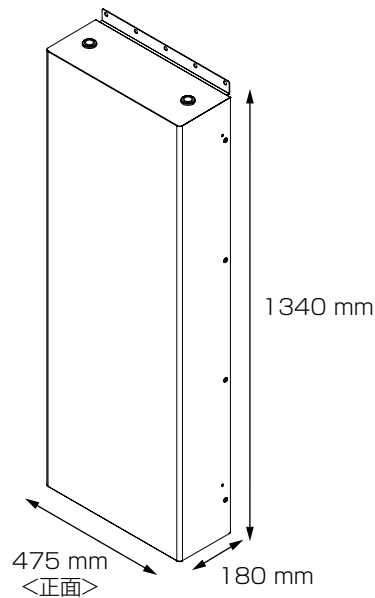
外形寸法図 / 各部名称

パワーコンディショナ (ES-E2J)

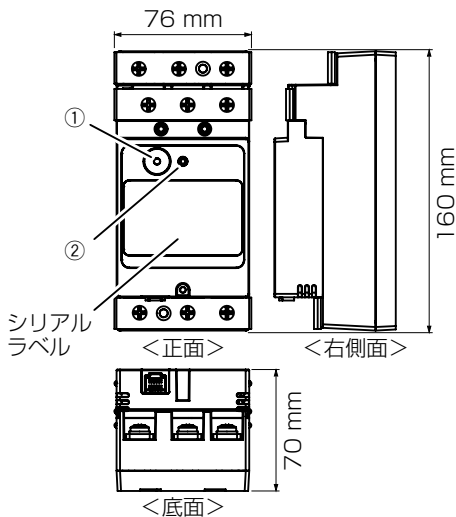


※ 1: 放熱口が塞がると温度上昇によりハイブリッド蓄電システムが自動停止する場合があります。放熱口を塞がないようご注意ください。

蓄電池ユニット (ES-DYMJ)

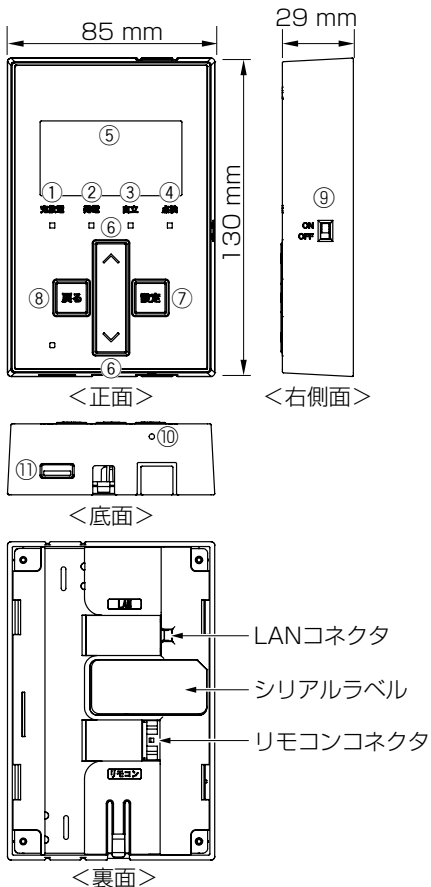


自動開閉器 (ES-B9E)



- ① **復帰ボタン**
自動開閉器が何らかの原因で停止した際に押すことで復帰させることができます。
復帰ボタンを押す場合は 1 回のみ短押ししてください。
- ② **状態表示 LED**
自動開閉器の状態を示します。
緑点灯：系統運転
赤点灯：自立運転
緑赤点滅 (0.2 秒間隔)：故障
緑赤点滅 (2 秒間隔)：診断中

室内リモコン (ES-R8J)



- ① **充放電 LED**
運転状態を表示します。
蓄電池ユニットが充電または放電しているとき、緑点灯します。
- ② **発電 LED**
太陽光が発電しているとき、緑点灯します。
- ③ **自立 LED**
ハイブリッド蓄電システムが停電動作 (自立運転) しているとき、緑点灯します。
- ④ **点検 LED**
点検コード (BExxx/BFxxx) が発生しているとき、緑点滅します。
- ⑤ **画面**^{※1}
本システムの充放電状態や各設定画面の設定内容などを表示します。
- ⑥ **▲ / ▼ ボタン**^{※2}
画面を上下にスクロール表示して各項目や設定値の選択をします。
- ⑦ **設定ボタン**^{※2}
 - 選択したメニューを実行して次の画面への遷移を行います。
 - 「▲ / ▼」で選択された設定値の次の設定値入力位置へのカーソル移動を行います。
- ⑧ **戻るボタン**^{※2}
 - 一つ前の画面への遷移を行います。
 - 選択したメニューをキャンセルして前の画面への遷移を行います。
 - 「▲ / ▼」で選択された設定値の前の設定値入力位置へのカーソル移動を行います。
- ⑨ **電源スイッチ (スライドスイッチ)**
室内リモコンの電源を ON/OFF します。
- ⑩ **リセットボタン**
室内リモコンのマイコンをリセットします。
- ⑪ **USB**
通常は使用しません。サービス対応時に使用します。

※ 1: 操作ボタンによる操作が行われない場合、60 秒後に画面のバックライトを消灯します。操作ボタンをタッチすると、再度バックライトを点灯します。

※ 2: 室内リモコンの操作音は「操作音を設定する【室内リモコンのみ】」(36 ページ)に従って設定してください。

ハイブリッド蓄電システムの専用アプリについて

お手持ちのスマートフォン端末に専用アプリをインストールすると、ハイブリッド蓄電システムの操作や稼働状態、履歴を確認することができます。

専用アプリで本システムを操作するためには、室内リモコンおよびスマートフォンをインターネットへ接続していただく必要があります。

重要

- 専用アプリは、スマートフォン端末専用となります。パソコンやタブレットなど、他の端末には対応していません。
- 専用アプリは、Android™ 端末は Android 9 以降、iPhone は iOS 15 以降の OS に対応しています。その他の OS には対応していません。
- スマートフォンの OS に更新があった場合は、専用アプリが正常に動作しない可能性があります。その場合、対応版アプリの準備までお待ちいただく場合があります。
- 専用アプリは、すべてのスマートフォン、すべてのお客様のご利用環境での動作を保証するものではありません。

メモ

- 専用アプリは、同一の室内リモコンに同時に 4 台まで接続できます。5 台以上を同時に接続すると、専用アプリが正常に動作しないおそれがあります。また、複数台で専用アプリを操作した場合は、複数台の中から最後に操作された内容が反映されます。
- 業者による対応中は、お客様の専用アプリは使用できません。

専用アプリの接続方式について

ルータ有線接続

室内リモコンと無線 LAN ルーターを有線 LAN ケーブルで接続する方式です。室内リモコンに対しインターネットを介してスマートフォンを接続することで、専用アプリを使用することができます。



専用アプリの設定について

1 専用アプリをインストールする

■ ダウンロード画面例



スマートフォンの専用アプリ（無料）を、Google Play もしくは App Store からインストールしてください。（ダウンロードには通信費用が発生することがあります。）

① QRコードを読み取る。

● Android の場合



<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.ichijo.ncs>

● iOS (iPhone) の場合



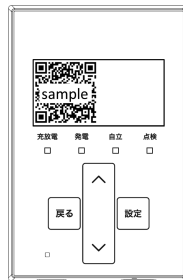
<https://apps.apple.com/jp/app/id6748298446>

② 画面に従ってインストールする。

2 室内リモコンの接続準備

- ① 「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」、「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」を「ON」にしてください。
- ② 「ネットワークの設定をする【室内リモコンのみ】」（41 ページ）を参照し、「ネットワーク設定」画面に切り替えてください。
- ③ ネットワーク設定画面で「専用アプリ利用登録」を選択し「設定」をタッチして、「専用アプリ利用登録」画面に切り替えてください。
- ④ 「QRコード表示」を選択し「設定」をタッチして、アプリ登録用のQRコードを表示してください。

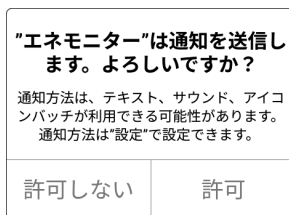
■ 「QRコード表示」画面例



3 専用アプリを起動する

専用アプリの初回起動時に“通知を送信します”のダイアログ^{※1}が表示された場合は、「許可」を選択してください。

■ダイアログ表示例（通知設定）



※ 1: スマートフォン本体の設定から通知の設定を行う場合は、スマートフォン本体の操作方法をご参照ください。

重要

スマートフォン側で通知の送信が許可されていない場合は、通知機能 (51 ページ) をご利用いただけません。通知機能をご利用いただけない場合、本システムに点検コード (51 ページ) が発生した際にスマートフォンへ通知が届かず、処置の遅れにより蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換 (有償) が必要となります。

専用アプリを起動すると「専用アプリ利用登録」画面に切り替わります。

メモ

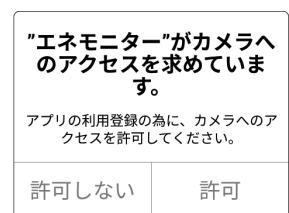
- 通知機能 (51 ページ) は、室内リモコンがインターネットに接続している場合のみ、ご利用いただけます。

4 専用アプリの利用登録を行う

専用アプリ利用登録画面の「QR コード読み取り」をタッチするとスマートフォンのカメラが起動しますので、室内リモコンに表示された QR コードを読み取ってください。

- “カメラへのアクセスを求めています”のダイアログは、「許可」を選択してください。

■ダイアログ表示例（カメラアクセス許可）

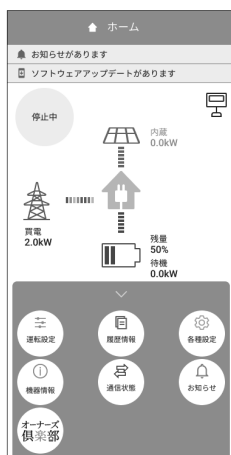


QR コードの読み取りに成功し専用アプリの利用登録が完了すると、利用登録完了画面に切り替わります。利用登録完了画面で「OK」をタッチしてください。

メモ

- QR コードの読み取りに失敗した場合は、室内リモコンの「戻る」をタッチして、QR コードを再度表示してください。

5 室内リモコンに接続する



専用アプリの利用登録が完了すると専用アプリが室内リモコンを自動的に検出して接続します。専用アプリと室内リモコンの接続が成功すると、「ホーム」画面を表示します。専用アプリの詳細は、次ページ以降をご覧ください。

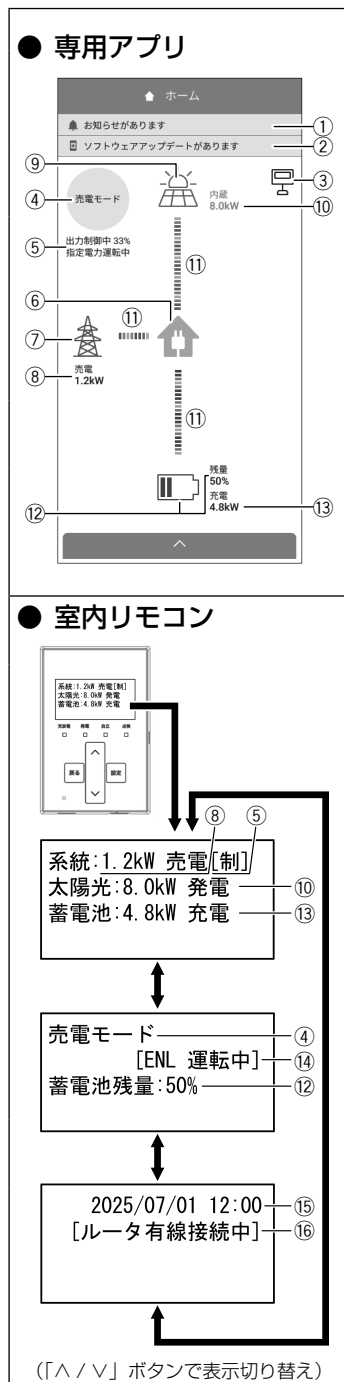
メモ

- 専用アプリの利用登録は初回のみです。次回以降に専用アプリを起動するとホーム画面に切り替わります。
- スマートフォン側で通知の送信が許可されていない場合は、通知「ON」を推奨する画面が表示されます。「通知設定」ボタンをタッチしてスマートフォン本体の設定を変更してください。
- 施工時に本システムの試運転が実施されていない場合は、未実施をお知らせする画面が表示されます。表示された場合は本システムを動作させることができませんので、専用アプリを終了し、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

専用アプリ / 室内リモコンの表示や画面構成について



専用アプリや室内リモコンに表示される電力値や残量は目安としてご利用ください。

■ 画面例 A





A 専用アプリおよび室内リモコンのホーム画面表示例を示します。

- ① **お知らせ^{*1}【専用アプリのみ】**
お知らせリストに未読のメッセージ^{*1}があるとき表示します。タッチするとお知らせに関する画面を表示します。
- ② **ファームウェア更新【専用アプリのみ】**
ファームウェアに更新があるとき表示します。
- ③ **ネットワーク状態アイコン【専用アプリのみ】**
専用アプリと室内リモコンの接続状態^{*2}を表示します。

	専用アプリと室内リモコンが接続している場合
	専用アプリと室内リモコンが接続していない場合
- ④ **運転モード**
ハイブリッド蓄電システムの現在の運転モードを表示します。
- ⑤ **発電抑制**
電力会社による発電抑制（出力制御、電圧上昇抑制）や HEMS^{*9}による発電抑制が行われているときに表示されます。表示中は売電量が減る場合があります。室内リモコンの場合は、⑧売買電電力の表示の後ろに「[制]」を表示します。
- ⑥ **住宅アイコン【専用アプリのみ】**
ご家庭内を意味します。
- ⑦ **電柱アイコン【専用アプリのみ】**
系統（電力会社）を意味します。
- ⑧ **売買電電力 [kW]**
売電、買電の状態および売買電電力^{*3}を表示します。

売電	100 W 以上電力を売電している場合
買電	100 W 以上電力を買電している場合
非表示	売買電電力が 100 W 未満の場合
- ⑨ **太陽光発電アイコン【専用アプリのみ】**
太陽光発電の状態を意味します。

	太陽光発電の電力が 100 W 以上の状態
	太陽光発電の電力が 100 W より小さい、または発電していない場合
- ⑩ **太陽光発電電力 [kW]**
太陽光発電電力^{*3}を表示します。
- ⑪ **電力の流れ【専用アプリのみ】**
各機器間の電力の流れをアニメーションで表示します。

流れなし	100 W 未満 ^{*4}
遅い流れ	100 W 以上 1.0 kW 未満
速い流れ	1.0 kW 以上
- ⑫ **蓄電池アイコン [%]**
蓄電池ユニットの残量をアイコンと数値で表示します^{*5、*6}。
- ⑬ **蓄電池ユニットの状態および充放電電力 [kW]**
蓄電池ユニットの状態および充放電電力を表示します^{*3、*5、*7}。


放電	100 W 以上電力を放電している場合
充電	100 W 以上電力を充電している場合
待機	充放電を行っていない場合 充放電電力が 100 W 未満の場合
- ⑭ **リモート表示【室内リモコンのみ】**
見守りサーバー、ECHONET Lite^{*8}、HEMS^{*9}など外部からの通信により運転しているときに表示されます。通信状態ではないときは表示されません。

⑮ **現在日時【室内リモコンのみ】**

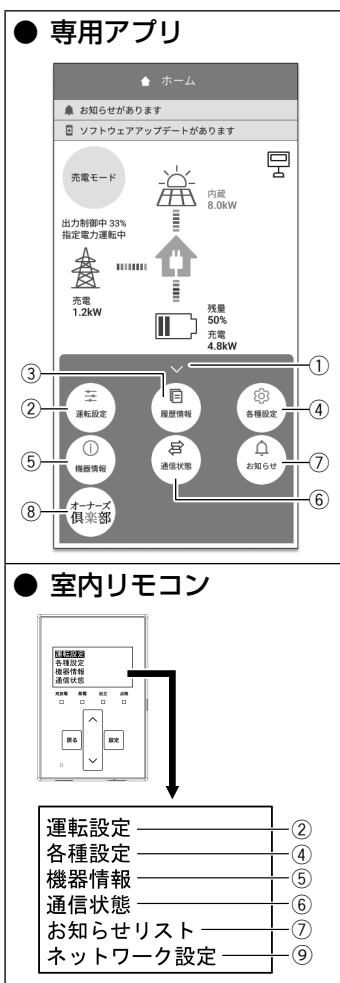
現在の日時を表示します*10。

⑯ **接続方式表示【室内リモコンのみ】**

専用アプリと室内リモコンが接続していた場合に、現在の接続方式を表示します。(15 ページ参照)

- ※ 1: お知らせは未読のままにしないでください。万が一の機器故障時に早期発見、早期対処するためにも日頃から「 お知らせがあります」表示が出た場合はすぐにご確認ください。
- ※ 2: ネットワーク接続状態の詳細は、「ネットワークの通信状態を確認する」を参照してください。(42 ページ参照)
- ※ 3: 他の機器 (HEMS など) の値とは異なる場合があります。目安としてご利用ください。
- ※ 4: 電力が小さい (100W 未満) 場合でも、センサーの誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。
- ※ 5: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。
- ※ 6: 一度使い切った電池がしばらくすると使える場合があるように、蓄電池特性により、しばらくすると表示が変わることがあります。目安としてご利用ください。
- ※ 7: 100W 未満の場合は、0.0kW と表示します。
- ※ 8: 「ECHONET Lite」「エコネットライト」は、エコネットコンソーシアムの登録商標です。
- ※ 9: 「HEMS」は、Home Energy Management System の略です。家庭で使うエネルギーを賢く管理するシステムです。
- ※ 10: インターネットに接続していない場合は、ご利用中に少しずつずれが発生します。通常はインターネットに必ず接続してください。

■ **画面例 B**



B 専用アプリおよび室内リモコンの画面構成を示します。

① **ドローメニュー【専用アプリのみ】**

タッチまたはスワイプすると各ボタンを表示します。各ボタンからさまざまな設定・操作を行います。

② **運転設定**

運転開始や運転停止、運転モードの選択や充放電時間に関するメニューを開きます。

運転モード設定	23 ページ
充放電時間帯設定	24 ページ
運転停止 / 運転開始	47、49 ページ

③ **履歴情報【専用アプリのみ】**

各制御の履歴情報や各種グラフに関するメニューを開きます。

出力制御履歴	30 ページ
出力制御スケジュール	
電圧上昇抑制履歴	
HEMS 発電制御履歴	
発電 / 売買電グラフ*1	29 ページ
蓄電池充放電グラフ*1	

④ **各種設定**

構成機器の各種設定に関するメニューを開きます。

太陽光発電	34 ページ
蓄電池ユニット*1	26 ページ
アプリ設定	* 2

⑤ **機器情報**

ハイブリッド蓄電システムの各種情報に関するメニューを開きます。

登録情報	33 ページ
設定情報	

⑥ **通信状態**

ハイブリッド蓄電システムのネットワーク通信状態を表示します。

通信状態	42 ページ
------	--------

⑦ **お知らせ (お知らせリスト)**

ハイブリッド蓄電システムで発生した動作や障害に関する点検コードの一覧を表示します。

お知らせ	58 ページ
------	--------

⑧ **オーナーズ倶楽部*3【専用アプリのみ】**

専用アプリの WebView でニチコンオーナーズ倶楽部を表示します。ログインすると、ハイブリッド蓄電システムの状態を WebView で表示します。(39 ページ)

⑨ ネットワーク設定【室内リモコンのみ】

ハイブリッド蓄電システムのネットワーク接続に関するメニューを表示します。

ネットワーク設定

41 ページ

※ 1: 併設している機器構成により画面構成が異なります。

※ 2: 「アプリ設定」では「利用規約」、「プライバシーポリシー」、「ライセンス情報」を閲覧することができます。

- 利用規約 : 専用アプリの利用規約を表示します。
- プライバシーポリシー : 個人情報に関する情報の取り扱い方針を表示します。
- ライセンス情報 : 本製品に使用されているソフトウェアライセンス情報を表示します。

※ 3: ニチコンオーナーズ倶楽部の会員登録（無料）が必要です。

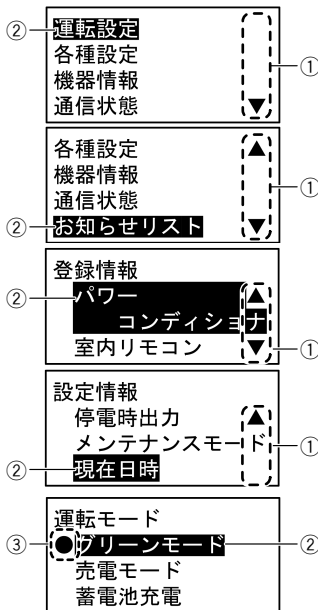
■ 画面例 C【専用アプリ】



C 専用アプリのボタン表示例を示します。

- ① **グリーンモード**
選択状態のボタンを意味します。
- ② **売電モード**
非選択状態のボタンを意味します。
- ③ **i**
タッチすると機能の説明を表示します。
- ④ **<**
戻るボタンを意味します。
タッチすると前画面に戻ります。
設定を変更した状態でタッチするとキャンセル画面に切り替わります。

■ 画面例 D【室内リモコン】



D 室内リモコンの画面表示例を示します。

- ① **スクロールマーク**
各画面の選択メニューが室内リモコンの画面に表示しきれない場合は、画面の右上側もしくは右下側にスクロールマーク（▲/▼）を点滅表示します。
- ② **カーソル位置**
現在選択している項目のカーソル位置は、**黒背景・白文字**で表示します。
- ③ **●マーク**
既に設定済みや動作中の項目を示します。

通常時の使い方

蓄電池ユニットの各運転モードについて（連系時）

本製品では、以下の運転モードを選択することができます。

運転モード		モード説明	
自動運転モード	グリーンモード★	放電時間帯	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は、蓄電池ユニットへ充電します。不足分は蓄電池ユニットから放電します。
		充電時間帯	電力会社の電力を蓄電池ユニットへ充電します。太陽光発電がある場合は、発電電力を優先的に使用して充電します。
	売電モード	放電時間帯	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は、売電します。不足分は蓄電池ユニットから放電します。
		充電時間帯	電力会社の電力を蓄電池ユニットへ充電します。太陽光発電がある場合は、発電電力を優先的に使用して充電します。
蓄電池充電		太陽光の発電状態や時間帯、充電上限設定に関係なく蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。	

★：製品出荷時の設定

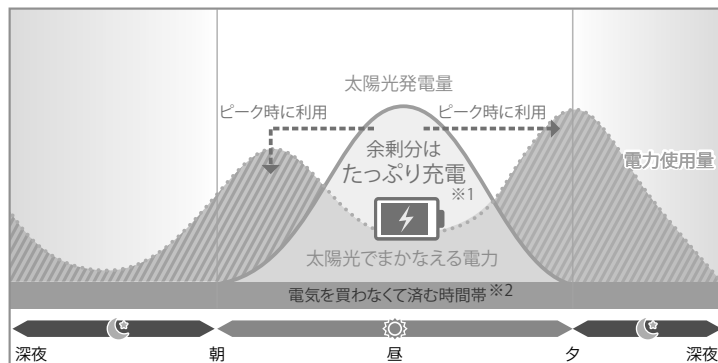
自動運転モード

設定された時間帯に従って、蓄電池ユニットの放電もしくは充電を行うモードです。希望する動作に応じてそれぞれご利用ください。なお、蓄電池ユニットを併設していない場合にはご利用いただけません。

グリーンモード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を蓄電池ユニットに充電します。蓄えた電力を太陽光の発電電力で補えない場合に使うことで、電力会社からの購入電力を減らすモードです。太陽光発電の電力をできる限り使用した生活をしたい方や夜間の電気料金が太陽光の売電価格より高い方にお勧めです。

■ グリーンモード



※ 1： 満充電後の余剰分は売電します。なお、蓄電池ユニットの充電電力の低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。

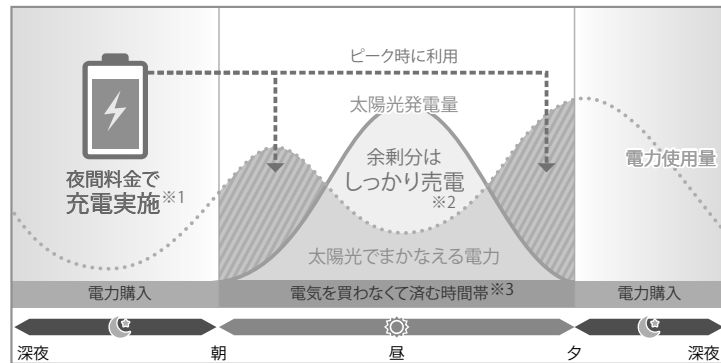
※ 2： ご家庭での電気使用量によって異なります。

- 放電時間帯は、昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、太陽光発電電力に余剰がある場合は、蓄電池ユニットに充電します。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットから放電します。蓄電池ユニットから放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。
- 充電時間帯は、電力会社から買電して蓄電池ユニットに充電を行います。充電時間帯中に太陽光発電がある場合は、発電電力を優先的に使用して充電します。なお、充電時間帯中は蓄電池ユニットから放電しません。
- 太陽光発電電力の余剰分は、蓄電池ユニットが満充電の場合や、充電電力が低下している場合は、充電できずに売電される場合があります。なお、売電中は蓄電池ユニットから放電しません。
- 太陽光発電または蓄電池ユニットから放電中に外部環境や間欠動作をする負荷等の影響によって、200W 程度の買電が発生する場合があります。

売電モード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。電気料金が割安な深夜時間帯に電力会社の電力から充電を行い、蓄電池ユニットからの放電を電気料金が割高な昼間に行うことで、電気料金の節約が可能になります。夜間の電気料金が太陽光の売電価格より安い方にお勧めです。

■ 売電モード



※ 1: 料金は電力会社やプランによって異なります。

※ 2: 売電価格は年度ごとに決まりますので、詳しくは電力会社にお問い合わせください。

※ 3: ご家庭での電気使用量によって異なります。

- 放電時間帯は、昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットから放電します。蓄電池ユニットから放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。なお、放電時間帯中は蓄電池ユニットへ充電せず、売電中は蓄電池ユニットから放電しません。
- 充電時間帯は、電力会社から買電して蓄電池ユニットに充電を行います。充電時間帯中に太陽光発電がある場合は、発電電力を優先的に使用して充電します。なお、充電時間帯中は蓄電池ユニットから放電しません。
- 出力制御などにより抑制機能が働いている場合は、太陽光発電電力の余剰分の一部を蓄電池ユニットに充電することがあります。

蓄電池充電

太陽光の発電状態や時間帯に関係なく、蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。なお、蓄電池ユニットを併設していない場合にはご利用いただけません。

- 太陽光発電電力を優先的に使用して蓄電池ユニットへの充電を行います。太陽光発電から蓄電池ユニットへの充電電力が不足する場合は、不足分を電力会社から買電して充電を行います。
- 太陽光発電電力が充電電力を上回っている場合は、家庭内負荷へ電力を供給します。太陽光発電電力が、充電電力と家庭内負荷への電力供給の両方を上回った場合は、余剰分を売電します。なお、蓄電池ユニットの充電電力の低下により、太陽光発電の一部が充電できず売電される場合があります。
- 蓄電池ユニットが満充電になり次第、充電動作を終了し待機状態になります。待機状態になってから6時間が経過した後、蓄電池充電が設定される直前の自動運転モードで動作します。

放電中の動作について

電力会社との取り決めにより、本システムは放電中に常に微量電力を買電します。

メモ

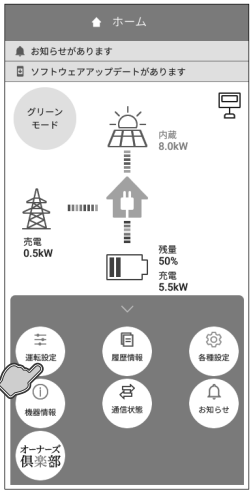
- 太陽光発電システムと異なり、蓄電池ユニットに蓄えた電力を送電線へ逆流させない決まりとなっています。
- 負荷容量が 100 W 未満の場合および負荷容量と太陽光発電量が均等になる場合は、専用アプリや室内リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。
- 発電電力が多く、売電電力が定格出力を超える場合には、蓄電池ユニットが充電できる状態であれば、定格出力を超える電力を、自動的に充電します。
- 太陽光発電または蓄電池ユニットから放電中に外部環境や間欠動作をする負荷等の影響によって、200 W 程度の買電が発生する場合があります。

蓄電池ユニットの運転モードを選ぶ（連系時）

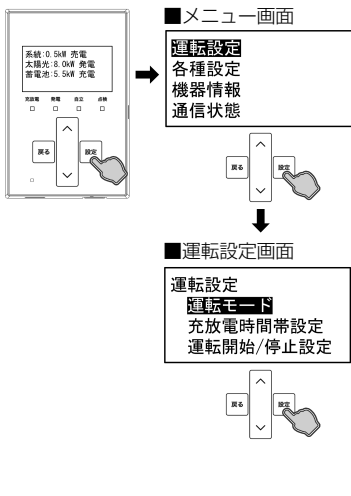
蓄電池ユニットの運転モードは、専用アプリまたは室内リモコンで設定することができます。連系時の運転モードをお客様の好みに合わせて選択してください。（21 ページ参照）

1 「運転設定」をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



- 専用アプリの場合
ドローメニューの「運転設定」をタッチ→「運転設定」画面に切り替わります。

メモ

- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、本設定を行うことはできません。

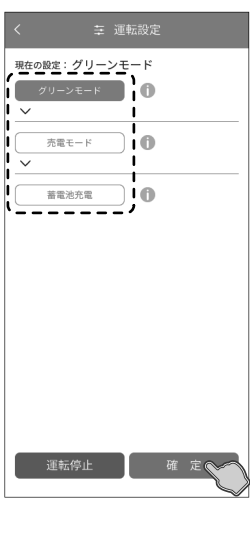
- 室内リモコンの場合
「設定」をタッチ→メニュー画面で「運転設定」を選択し「設定」をタッチ→運転設定画面で「運転モード」を選択し「設定」をタッチ→「運転モード」画面に切り替わります。

メモ


- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、本設定を行うことはできません。

2 運転モードを選択して「確定」（室内リモコンは「設定」）をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



- 専用アプリの場合
蓄電池ユニットの運転モード（21 ページ参照）を選択し「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。

メモ

- 運転モードは表示されるモードのみ選択できます。通常は自動運転モードを選択してください。
- 運転設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「運転設定」画面に戻ります。

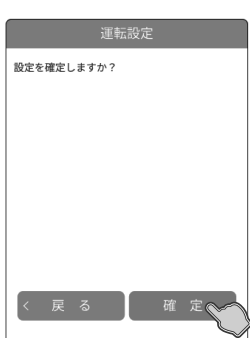
- 室内リモコンの場合
蓄電池ユニットの運転モード（21 ページ参照）を選択し「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。

メモ

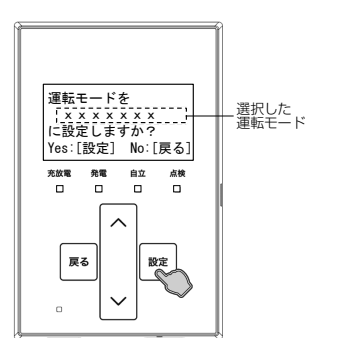
- 運転モードは表示されるモードのみ選択できます。通常は自動運転モードを選択してください。
- 「△/▽」をタッチして選択メニューの項目を選択します。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 設定内容を確定する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



- 専用アプリの場合
「確定」をタッチすると、設定内容を確定して「ホーム」画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

- 室内リモコンの場合
「設定」をタッチすると、設定内容を確定して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

メモ

- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

蓄電池ユニットの充放電時刻を変更する

通常運転時の充電開始 / 停止時刻、放電開始 / 停止時刻を運転モードごとに、専用アプリや室内リモコンで変更できます。

- 製品出荷時の設定時間帯：

	グリーンモード	売電モード
充電開始時刻 / 停止時刻※ ¹	01:00 ~ 01:01	01:00 ~ 05:59
放電開始時刻 / 停止時刻※ ²	01:02 ~ 00:50	06:00 ~ 00:50

※ 1: 電力会社から買電して蓄電池ユニットに充電するときの開始時刻 / 停止時刻 (太陽光発電電力で充電する開始時刻 / 停止時刻ではありません。)

※ 2: 蓄電池ユニットから放電するときの開始時刻 / 停止時刻

(運転モードが「グリーンモード」設定かつ太陽光発電がある場合、太陽光発電電力の余剰分は放電時間帯に蓄電池ユニットに充電されます。なお、蓄電池ユニットの充電電力の低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。)

※ 充放電時間帯の合計は 23 時間 50 分以内としてください。

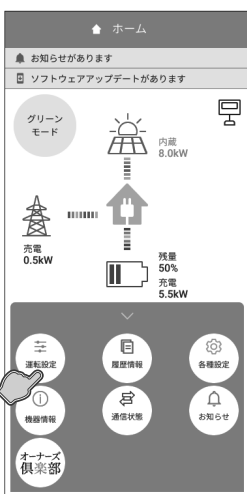
※ 充放電時間帯が重複しないように設定してください。

メモ

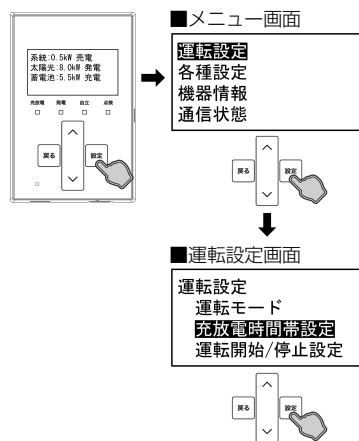
- 「売電モード」「グリーンモード」は、それぞれ別の時刻を設定できます。
- グリーンモード利用時に充電時間帯を長く設定すると、電力会社の電力による充電が進み、昼間の太陽光発電電力による充電ができなくなる場合があります。電力会社の電力で充電しすぎないように、充電時間を短く設定するか、「蓄電池充電上限値」(26 ページ) の設定をご利用ください。
- 売電モード利用時に充電時間帯を短く設定すると、蓄電池ユニットが 100% まで充電できない場合があります。

1 「運転設定」をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

ドローメニューの「運転設定」をタッチ→「運転設定」画面に切り替わります。

● 室内リモコンの場合

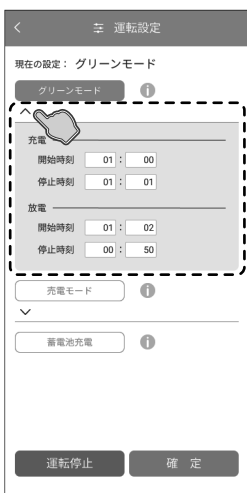
「設定」をタッチ→メニュー画面で「運転設定」を選択し「設定」をタッチ→運転設定画面で「充放電時間帯設定」を選択し「設定」をタッチ→「充放電時間帯設定」画面に切り替わります。

メモ

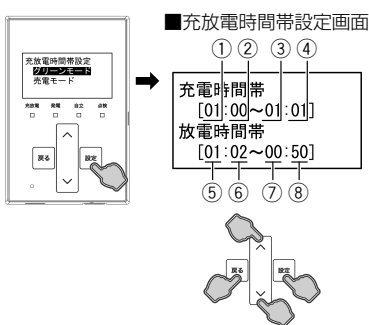
- 「∧ / ∨」をタッチして項目を選択します。

2 設定したい運転モードを選択して充放電時間を入力する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

設定したい運転モードの「∨」をタッチして充放電時間を設定します。

● 室内リモコンの場合

設定したい運転モードを選択し「設定」をタッチ→選択した運転モードの充放電時間を設定します。

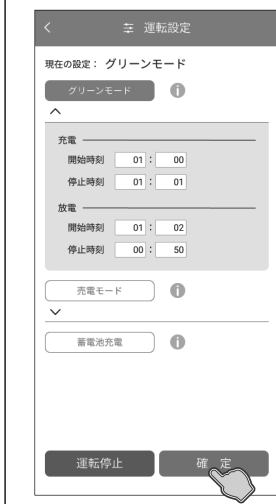
- 「設定」 / 「戻る」をタッチするとカーソルが移動 (① ⇐②⇐…⇐⑧) します。
- カーソル位置で「∧ / ∨」をタッチすると時間 (時 / 分) の設定値を選択できます。

メモ

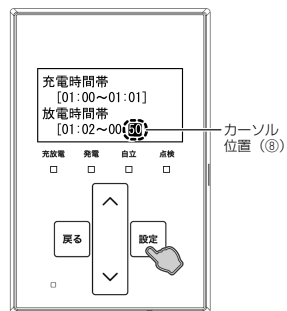
- カーソルの位置は、黒背景・白文字で表します。
- カーソル①の位置で「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 設定内容を確定する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、設定内容を確定して「ホーム」画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

✎ メモ

- 充放電時間帯（充電と放電、開始時間と停止時間）が重複している場合や、充電時間と放電時間の合計が23時間50分を超過している場合は、確認画面に切り替わります。「戻る」をタッチして再度設定してください。
- 充放電時間の設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「運転設定」画面に戻ります。

● 室内リモコンの場合

カーソル位置⑧で「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると設定内容を確定して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

✎ メモ

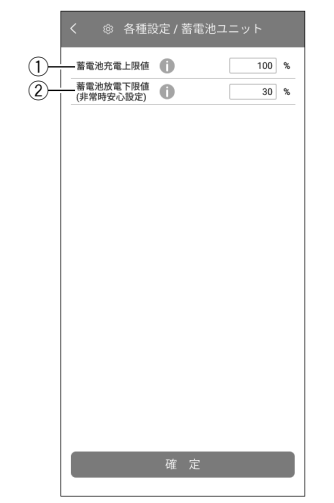
- 充放電時間帯（充電と放電、開始時間と停止時間）が重複している場合や、充電時間と放電時間の合計が23時間50分を超過している場合は、確認画面に切り替わります。「戻る」をタッチして再度設定してください。
- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

蓄電池ユニットの各種設定について

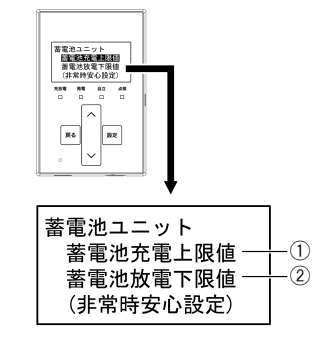
蓄電池ユニットに関わる各種設定を行います。

■ 画面例

● 専用アプリ



● 室内リモコン



① 蓄電池充電上限値

電力会社の電力で充電する際に、指定した上限値で充電を停止する設定です。グリーンモード利用時に太陽光発電の余剰電力をできるだけ多く充電できるように、電力会社の電力で充電する容量を少なくしたい場合などに設定してください。なお、太陽光発電電力による余剰充電および「蓄電池充電」は本設定の対象外となり、上限値を超えて充電されます。

設定値	20%、30%、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%★
-----	---------------------------------------

- 蓄電池ユニットが長期間満充電状態にならなかった場合は、蓄電池ユニットの性能維持のため、充電時間帯に上限設定機能を OFF にして充電を行います。上限設定機能を OFF にする際に点検コード「BI459」が表示されますが、エラー解除の操作は必要ありません。蓄電池残量が 100% に達すると点検コード「BI460」が表示され、その後は設定されている蓄電池充電上限値で動作します。なお、蓄電池残量が 100% に達するまで上限設定機能は OFF のままとなりますので、元の動作に戻らない場合は、「100%まで充電できない場合」(43 ページ) を参照のうえ、100% まで充電できるよう各種設定を確認してください。

✎ メモ

- 通常時に蓄電池残量が設定値 -3% 未満の場合は、誤作動防止のため充電を開始しません。
- 蓄電池放電下限値が蓄電池充電上限値を上まわる、もしくは同じ値 となる設定にすると、蓄電池ユニットの充放電動作に制限がかかります。ただし、太陽光余剰電力による充電は設定値に関係なく行われます。

② 蓄電池放電下限値 (非常時安心設定)

停電が発生しても、蓄電池ユニットから電気が使えるよう設定した割合の蓄電池残量を常に残しておく設定です。もしもの停電や、台風、計画停電などの停電発生に備えあらかじめ準備するときは、設定を切り替えることで、安心してお使いいただけます。なお、設定後から蓄電池残量の制御を開始するため、必要の際は前日までに切り替えてください。

設定値	0%、20%、30%★、40%、50%、60%、70%、100%
-----	----------------------------------

✎ メモ

- 通常時に蓄電池残量が設定値 +1% 未満の場合は、誤作動防止のため放電を開始しません。
- 停電中や充電時間が極端に短くなるような、充電できない状態が続く場合、あるいは蓄電池ユニットの環境温度が低い場合には、蓄電池放電下限値 (非常時安心設定) の指定蓄電池残量を下回ることがあります。

重要 「ご注意ください」

蓄電池放電下限値 (非常時安心設定) を「0%」にすると、停電時に蓄電池残量がない場合、翌日の太陽光が発電するまで停電中は電気が使用できません。

★：製品出荷時の設定値

蓄電池ユニットの各種設定を設定する

蓄電池ユニットの各種設定は、専用アプリまたは室内リモコンで設定することができます。

1 「各種設定」 → 「蓄電池ユニット」 をタッチする

● 専用アプリ

● 室内リモコン

- 専用アプリの場合
ドローメニューの「各種設定」をタッチ→「蓄電池ユニット」をタッチ→「各種設定 / 蓄電池ユニット」画面に切り替わります。
 - 室内リモコンの場合
「設定」をタッチ→メニュー画面で「各種設定」を選択し「設定」をタッチ→各種設定画面で「蓄電池ユニット」を選択し「設定」をタッチ→「蓄電池ユニット」画面に切り替わります。
- メモ**
- 蓄電池ユニットを併設していない場合、「蓄電池ユニット」は選択できません。
 - 「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

2 蓄電池ユニットの各種設定を変更する

● 専用アプリ

● 室内リモコン

- 専用アプリの場合
各項目をタッチして設定値 (26 ページ参照) を変更します。
 - 室内リモコンの場合
各項目を選択して「設定」をタッチすると、各項目の設定画面に切り替わります。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。
- メモ**
- 「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。
 - 「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると、設定内容を確定してホーム画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

3 設定内容を確定する

● 専用アプリ

● 室内リモコン

- 専用アプリの場合
「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、設定内容を確定してホーム画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。
 - 室内リモコンの場合
「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると、設定内容を確定して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。
- メモ**
- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

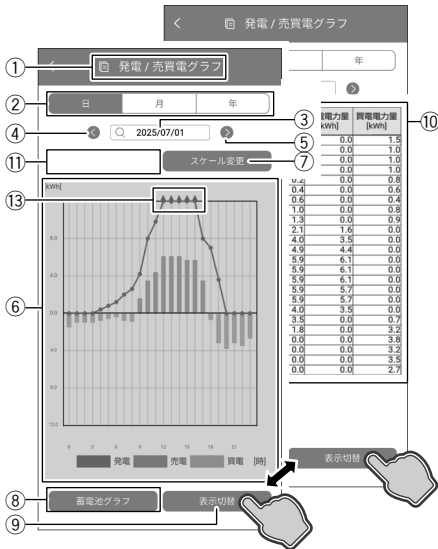
各グラフについて【専用アプリのみ】

「発電 / 売買電グラフ」と「蓄電池充放電グラフ」を切り替えて表示できます。

メモ

- 本システムの設置時から現在までの過去最大 10 年間相当のグラフを表示し、10 年を超えると古い日付のデータから削除されます。
- グラフおよび表示量は目安です。測定条件などの違いにより、他の機器 (HEMS など) と異なる場合があります。
- 室内リモコンの電源を切っている間のデータは、データが保存されないため表示できません。
- 日時設定を変更したときは、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。HEMS や NTP との時刻同期により日時設定が変更されたときも同様です。
- パワーコンディショナもしくは室内リモコンの修理・交換を行った場合、各グラフのデータがリセットされる場合があります。
- 室内リモコンでは、グラフ情報は確認できません。

■ 発電 / 売買電グラフ・数値例



● 発電 / 売買電グラフ・数値

太陽光の発電電力量 (kWh) および売電電力量 (kWh)、買電電力量 (kWh) を表示します。太陽光発電パネルを併設していない場合も表示します。

● 蓄電池充放電グラフ・数値

蓄電池ユニットの充電電力量 (kWh) および放電電力量 (kWh)、蓄電池残量 (%) を表示します。蓄電池ユニットを併設していない場合は表示しません。

① グラフ名称

表示しているグラフの名称を表示します。

② 表示期間切替

日 / 月 / 年をタッチすると、日別 / 月別 / 年別に表示期間が切り替わります。

③ 年月日

現在表示しているグラフの日付を表示します。タッチするとカレンダーから表示する日付を選択することができます。

④ 前へ / ⑤ 次へ

前日 / 翌日、前月 / 翌月、前年 / 翌年を表示します。

⑥ 電力量 [kWh] (発電 / 売買電グラフ)

電力量を表示します。

発電電力量	折れ線グラフ (青色) で表示
売電電力量	棒グラフ (緑色) で上側に棒の長さで表示
買電電力量	棒グラフ (オレンジ色) で下側に棒の長さで表示

⑦ スケール変更

タッチすることで表示スケールを変更して表示します。

	発電 / 売買電グラフ	蓄電池充放電グラフ
日別	6 kWh / 12 kWh	6 kWh
月別	30 kWh / 60 kWh / 90 kWh	12 kWh / 24 kWh
年別	600 kWh / 1200 kWh / 2400 kWh	300 kWh / 600 kWh / 1200 kWh

⑧ グラフ切替※ 1

次に表示されるグラフ名を一部省略 (売買電グラフ: 発電 / 売買電グラフ、蓄電池グラフ: 蓄電池充放電グラフ) して表示します。タッチするとグラフ種類を変更して表示します。

⑨ 表示切替

タッチするとグラフ ⇄ 数値で表示が切り替わります。

⑩ 数値表示

各グラフの内容を数値で表示します。

⑪ 積算発電量 [kWh]

月別表示のときは「月間発電量」、年別表示のときは「総積算発電量」を表示します。日別の場合には表示されません。

⑫ 電力量 [kWh] / 残量 [%] (蓄電池充放電グラフ)

電力量を表示します。

充電電力量	棒グラフ (オレンジ色) で上側に棒の長さで表示
放電電力量	棒グラフ (緑色) で下側に棒の長さで表示
残量	折れ線グラフ (青色) で表示

⑬ ▲▼表示

表示範囲を超えた場合に表示します。

※ 1: 併設している機器構成により画面構成が異なります。

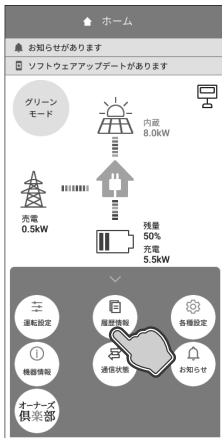
グラフを表示する【専用アプリのみ】

グラフ各種は、専用アプリに表示することができます。室内リモコンには表示できません。

1 「履歴情報」をタッチする

● 専用アプリ

ドローメニューの「履歴情報」をタッチ→「履歴情報」画面に切り替わります。



2 グラフを選択する

● 専用アプリ

日付検索画面で日付を確定すると、選択したグラフ画面に切り替わります。



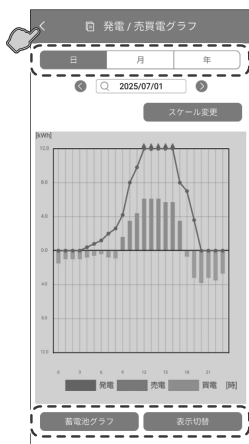
✎ メモ

- 「履歴情報」画面はスクロールしてメニューを表示選択してください。
- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、「蓄電池充放電グラフ」は選択できません。
- 各グラフは、「履歴情報」画面のグラフボタンもしくは各グラフ画面の「グラフ切替」をタッチすると表示されます。
- 次の場合は、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。
 - 日時設定を変更したとき
 - パワーコンディショナもしくは室内リモコンを修理交換したとき
- 表示するデータが無い場合は「表示できるデータがありません」と表示します。

3 グラフを確認する

● 専用アプリ

- 「発電/売買電グラフ」画面例



- 「日」「月」「年」をタッチすると、表示期間を日間、月間、年間表示に切り替えます。
- 画面下部に「蓄電池グラフ」ボタン^{※1}、「売買電グラフ」ボタン^{※1}が表示される場合、各ボタンをタッチすると、「蓄電池充放電グラフ」、「発電/売買電グラフ」に切り替わります。
- 「表示切替」をタッチすると、グラフ表示⇄数値表示を切り替えます。
- ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、「履歴情報」画面に戻ります。

※1: 設置環境によって表示されるボタンが異なります。蓄電池ユニットを併設していない場合は、「蓄電池グラフ」ボタンは表示されません。

✎ メモ

- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、「蓄電池充放電グラフ」は表示されません。
- 各グラフは、「履歴情報」画面のグラフボタンもしくは各グラフ画面のグラフ切替をタッチすると表示されます。
- 「スケール変更」をタッチすると電力量の縦目盛りの表示を変更します。

4 「ホーム」画面に戻る

● 専用アプリ

ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。



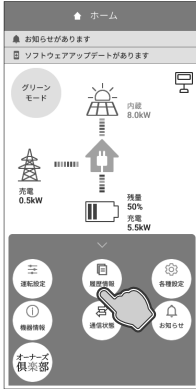
発電抑制の履歴を表示する【専用アプリのみ】

本システムのパワーコンディショナの太陽光発電が抑制された履歴を、専用アプリで確認することができます。室内リモコンで確認することはできません。

1 「履歴情報」をタッチする

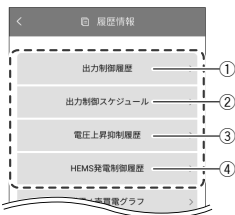
● 専用アプリ

ドローメニューの「履歴情報」をタッチ→「履歴情報」画面に切り替わります。



2 確認したい履歴を選択する

● 専用アプリ



選択した履歴画面に切り替わります。

「出力制御履歴」および「出力制御スケジュール」は、日付検索画面で日付を確定すると、各画面に切り替わります。

① 出力制御履歴 / ② 出力制御スケジュール

出力制御対象の場合のみ、電力会社で定められたスケジュールによる発電抑制履歴および抑制スケジュールを表示します。検索する日付を選択してください。

③ 電圧上昇抑制履歴

柱上トランスの電圧が太陽光の売電等により上昇した場合の、電力会社指示による発電抑制履歴を表示します。

④ HEMS 発電制御履歴

HEMS からの指示による発電制御履歴を表示します。



メモ

- 「履歴情報」画面はスクロールしてメニューを表示選択してください。

3 履歴を確認後、「履歴情報」画面に戻る

● 専用アプリ



- 「前日」または「翌日」をタッチすると、現在表示している日付の「前日」または「翌日」の履歴を表示します。

- ナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると前画面に戻ります。



メモ

- 「出力制御履歴」は設置日から「現在日時」までの日付で確認できます。
- 「出力制御スケジュール」は設置日から固定スケジュール最終日までの日付で確認できます。
- 「電圧上昇抑制履歴」、「HEMS 発電制御履歴」の最大表示件数は 100 件です。100 件を超えると古い日付のデータから削除されます。
- データが無い場合は、「表示できるデータがありません」と表示します。

4 「ホーム」画面に戻る

● 専用アプリ



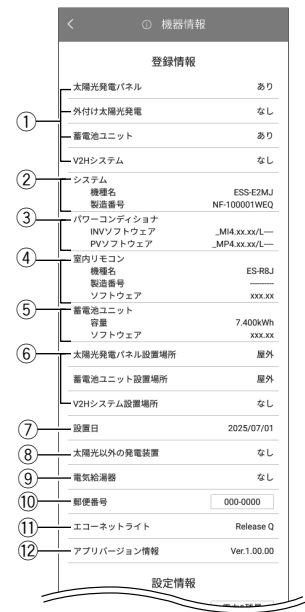
ナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

機器情報について

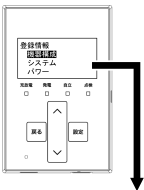
機器情報は、「登録情報」「設定情報」を表示します。画面はスクロール表示してください。

■「機器情報」画面例 A

● 専用アプリ



● 室内リモコン



登録情報	
機器構成	①
システム	②
パワー コンディショナ	③
室内リモコン	④
蓄電池ユニット	⑤
機器設置場所	⑥
設置日	⑦
太陽光以外の 発電装置	⑧
電気給湯器	⑨
郵便番号	⑩
エコネットライト	⑪

A 機器情報の「登録情報」を表示します。

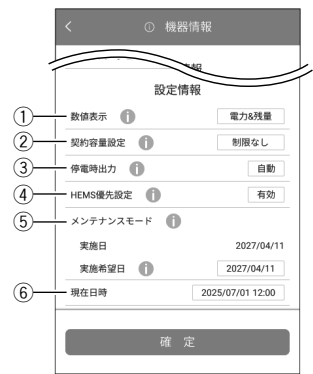
- ① 機器構成 (太陽光発電パネル/外付け太陽光発電/蓄電池ユニット/V2Hシステム) あり/なし
- ② システム 機種名/製造番号
システム 機種名^{※1}: ES-E2J/ESS-E2MJ/ESS-E2XJ
システム 製造番号: パワーコンディショナ製造番号
- ③ パワーコンディショナ ソフトウェア
パワーコンディショナ INV ソフトウェア: バージョン番号
パワーコンディショナ PV ソフトウェア: バージョン番号
- ④ 室内リモコン 機種名/製造番号/ソフトウェア
室内リモコン 機種名: ES-R8J
室内リモコン 製造番号: 室内リモコン製造番号
室内リモコン ソフトウェア: バージョン番号
- ⑤ 蓄電池ユニット^{※2} 容量/ソフトウェア
蓄電池ユニット 容量: 7.4 kWh / 14.9 kWh
蓄電池ユニット ソフトウェア: バージョン番号
- ⑥ 機器設置場所 (太陽光発電パネル設置場所/蓄電池ユニット設置場所/V2H システム設置場所)
太陽光発電パネル設置場所: 屋外/その他
蓄電池ユニット設置場所: 屋内/屋外/なし
V2H システム設置場所: なし
- ⑦ 設置日
本システムを設置した日
- ⑧ 太陽光以外の発電装置
あり/なし
- ⑨ 電気給湯器
あり/なし
- ⑩ 郵便番号
本システムを設置しているご住所の郵便番号
• 郵便番号を設定すると異常が発生した際に、原因の特定につながる場合がありますので正しく入力してください。
- ⑪ エコネットライト
バージョン番号
- ⑫ アプリバージョン情報【専用アプリのみ】
バージョン番号

※ 1: パワーコンディショナ設置後に蓄電池ユニットを増設設置した場合のシステム機種名は、増設後の組み合わせによるシステム機種名になります。(「増設設置の可能期間」(69 ページ) 参照)

※ 2: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。

■「機器情報」画面例 B

● 専用アプリ



● 室内リモコン



設定情報	
契約容量設定	②
停電時出力	③
メンテナンスモード	⑤
現在日時	⑥
HEMS優先設定	④

B 機器情報の「設定情報」の項目を設定できます。

① 数値表示【専用アプリのみ】

ホーム画面上の電力値および蓄電池残量の表示を設定できます。

設定値	電力 & 残量★ / 電力のみ / 残量のみ / 非表示
-----	------------------------------

② 契約容量設定

ご家庭の契約アンペアまたは契約電力のブレーカ容量に対し、本システムの充電電力を調整するための設定です。施工業者が設定しますので、お客様は変更しないでください。電力契約の変更により、設定値を変更する場合は、お買い上げの販売会社に相談してください。

設定値	制限なし★、20A、30A、40A、50A、60A、7kVA、8kVA、9kVA、10kVA、11kVA、12kVA、13kVA、14kVA、15kVA、16kVA、17kVA、18kVA、19kVA、20kVA
-----	--

③ 停電時出力

停電時の電力供給方法を表示します。

設定値	自動★	停電時に自動で電気を供給します。
	手動	停電時に自動では電気を供給しません。安全を確認してから電気を利用したい場合は選択してください。

④ HEMS 優先設定

ハイブリッド蓄電システムが遠隔制御によって動作している際に、HEMS からの制御を優先するかを設定します。

設定値	有効★	HEMS からの制御を優先します。設定されている間はニチコンの各種ネットワークサービスが停止しますのでご注意ください。
	無効	HEMS からの制御を優先せず、ニチコンの各種ネットワークサービスなどの制御も受け付けます。

✎ メモ

● ニチコンのネットワークサービスの詳細は「ネットワークサービス」(39 ページ)を参照してください。

⑤ メンテナンスモード※¹ 実施日 / 実施希望日

ハイブリッド蓄電システムの性能維持のため蓄電池ユニットを定期的に点検するモードで、1年に1回予定日に実施されます。〔蓄電池ユニットのメンテナンスモードについて〕(62 ページ) 参照)

実施日 : 4月11日～20日(リトライで9月に実施する場合は9月21日～30日)のうち、システム製造番号の数字部分1桁目の数字と同じ日付を自動で設定します。実施希望日を設定した場合やメンテナンスモード中止による再実施等の場合は、次回実施予定の日付を表示します。

実施希望日: メンテナンスモードの実施日を、4月11日～30日の範囲で設定できます。(リトライで9月に実施する場合は9月21日～10月10日の範囲で設定できます。)

⑥ 現在日時

現在の日時を設定できます。

- 現在日時は、長年の使用により進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧めします。現在日時に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう場合があります。
- インターネットに接続している場合は、毎日一定の時間に現在日時が更新されますので、設定は不要です。
- 出力制御対象の場合は、現在日時を変更できません。

★: 製品出荷時の設定値

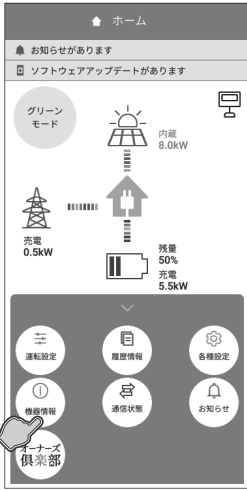
※ 1: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。

機器情報を確認する

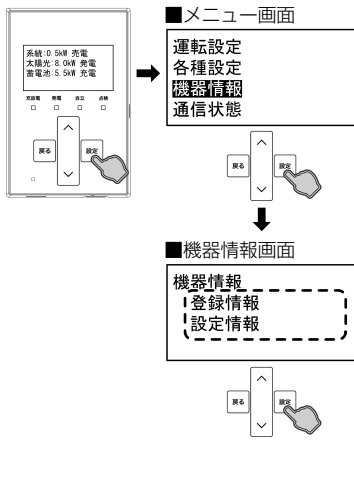
本システムの機器情報は、専用アプリまたは室内リモコンで確認および設定することができます。

1 「機器情報」をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

ドローメニューの「機器情報」をタッチ→「機器情報」画面に切り替わります。

メモ

- 機器情報は、一部の項目のみお客様にて変更できます。

● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「機器情報」を選択し「設定」をタッチ→機器情報画面で「登録情報」もしくは「設定情報」を選択し「設定」をタッチ→「登録情報」もしくは「設定情報」画面に切り替わります。

メモ

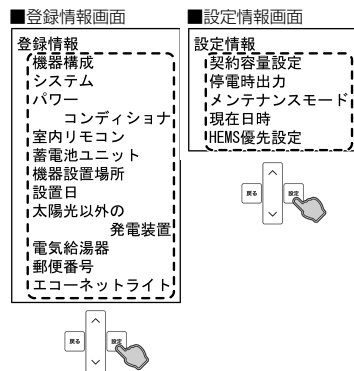
- 機器情報は、一部の項目のみお客様にて変更できます。
- 「△/▽」をタッチして項目を選択します。

2 項目を確認もしくは設定変更する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

各設定項目をタッチすると変更できます。(31 ページ参照)

メモ

- 「機器情報」画面はスクロール表示してください。
- お客様が変更できない項目は、内容表示のみとなります。
- 契約容量設定は、施工業者が設定しますので、お客様は変更しないでください。設定値を変更する場合は、お買い上げの販売会社に相談してください。

● 室内リモコンの場合

各設定項目をタッチすると表示画面もしくは設定画面に切り替わります。

設定変更する場合は、「△/▽」をタッチして各項目の設定値(31 ページ参照)を選択します。

メモ

- 「登録情報」や「設定情報」画面はスクロール表示してください。
- お客様が変更できない項目は、内容表示のみとなります。
- 契約容量設定は、施工業者が設定しますので、お客様は変更しないでください。設定値を変更する場合は、お買い上げの販売会社に相談してください。
- 「△/▽」をタッチして項目および設定値を選択します。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 設定内容を確定する

● 専用アプリ



● 室内リモコン

- 郵便番号を登録する場合



● 専用アプリの場合

「確定」をタッチすると、設定の確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、設定内容を確定してホーム画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

✎ メモ

- 機器情報を変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「機器情報」画面に戻ります。

● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチすると、設定の確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると、設定内容を確定して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

✎ メモ

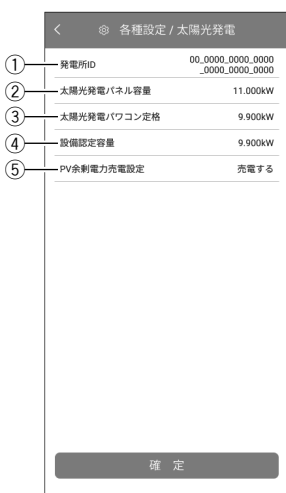
- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

太陽光発電設定について

太陽光発電に関わる情報を表示します。

■ 「太陽光発電」画面例

● 専用アプリ



① 発電所 ID

接続している発電所の ID を表示します。発電所 ID は、電力会社からの明細に記載されています。

- 出力制御対象時のみ表示します。

② 太陽光発電パネル容量

本システムに接続している太陽光発電パネルの発電容量を表示します。

③ 太陽光発電パワコン定格

本システムのパワーコンディショナの定格出力を表示します。

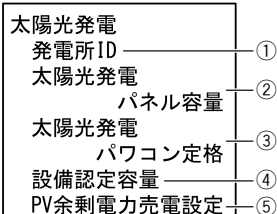
④ 設備認定容量

FIT^{※1}申請により売電が認められる太陽光発電量を表示します。

⑤ PV 余剰電力売電設定

本システムに接続している太陽光発電パネルの余剰電力発生時の売電有無を表示します。

● 室内リモコン



※ 1: 固定価格買い取り制度 (FIT) とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で 10 年間買い取る制度です。

太陽光発電設定を確認する

太陽光発電設定の内容は、専用アプリまたは室内リモコンで確認することができます。

1 「各種設定」 → 「太陽光発電」 をタッチする

● 専用アプリ

● 室内リモコン

- **専用アプリの場合**
ドローメニューの「各種設定」をタッチ→「太陽光発電」をタッチ→「各種設定 / 太陽光発電」画面に切り替わります。
- **室内リモコンの場合**
「設定」をタッチ→メニュー画面で「各種設定」を選択し「設定」をタッチ→各種設定画面で「太陽光発電」を選択し「設定」をタッチ→「太陽光発電」画面に切り替わります。

2 太陽光発電の表示内容を確認する

● 専用アプリ

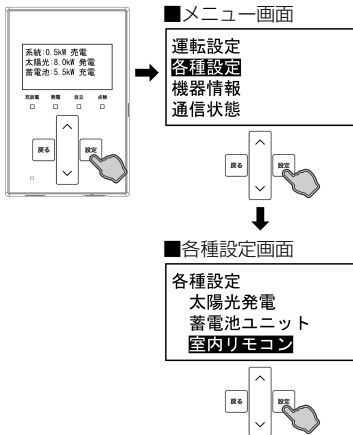
● 室内リモコン

- **専用アプリの場合**
表示内容を確認し、ナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、前画面に戻ります。
 - **室内リモコンの場合**
各設定項目をタッチすると表示画面に切り替わります。表示内容を確認し、「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。
- メモ**
- 「∧/∨」をタッチして項目を選択します。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

操作音を設定する【室内リモコンのみ】

操作ボタン(「設定」/「戻る」/「上」/「下」)の操作音(ON/OFF)を設定できます。

1 「設定」をタッチする

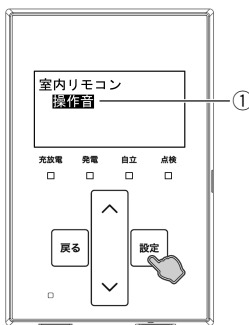


メニュー画面で「各種設定」を選択し「設定」をタッチ→各種設定画面で「室内リモコン」を選択し「設定」をタッチ→「室内リモコン」画面に切り替わります。

メモ

- 「上」/「下」をタッチすると選択メニューをスクロール表示して選択できます。

2 「操作音」を選択して「設定」をタッチする



「操作音」を選択し「設定」をタッチすると、操作音の設定画面に切り替わります。

① 操作音

室内リモコン操作ボタンの操作音を設定できます。

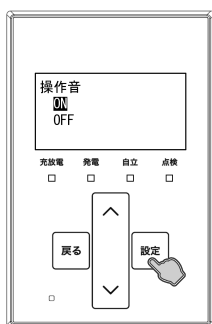
設定値 ON★、OFF

★：製品出荷時の設定値

メモ

- 「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 設定内容を確定する



設定値を選択して「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると、設定内容を確定して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

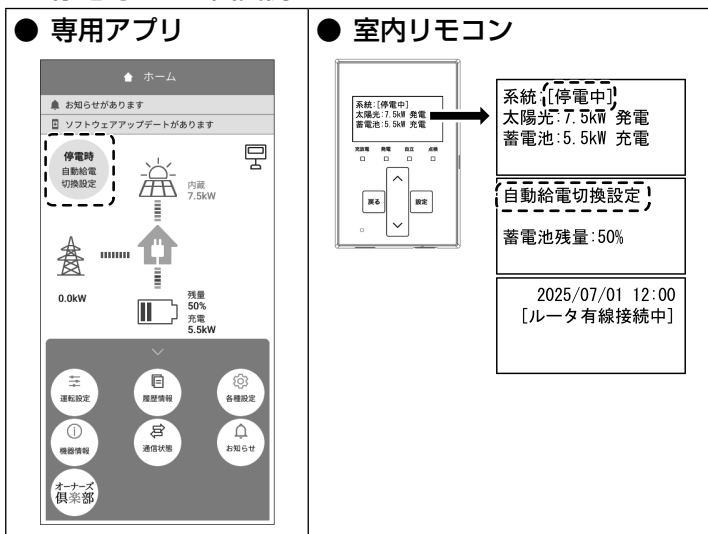
メモ

- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

停電時の使い方（自立運転）

停電が発生した際は、本製品は停電時の運転に自動で切り替わります。
 停電中はルーターに電源が供給されている場合に限り、専用アプリが利用できます。
 なお、ルーターがインターネットに接続できない場合は専用アプリが利用できませんので、その際は室内リモコンから操作してください。

■ 停電時ホーム画面例

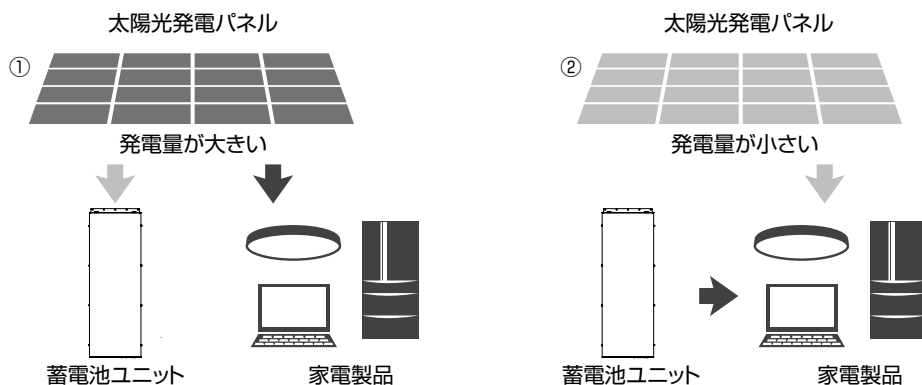


蓄電池ユニットの各運転モードについて（停電時）

自動給電切換設定

停電時に太陽光発電電力とご家庭内の家電製品の電力使用量を判断しながら、蓄電池ユニットからの放電や蓄電池ユニットへの充電の切り替えを行います。

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を蓄電池ユニットに充電(①)します。また、蓄えた電力を太陽光の発電電力で補えない場合に使う(②)ことで、停電中でも通常時と変わらず家電製品をご利用いただくことができます。



重要

- 停電が発生すると、本製品の定格出力電力が最大 5.5 kVA(蓄電池ユニットが 2 台の場合は 5.9 kVA) まで制限されます。通常時に使用していた家電製品などが電力不足により使用できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
- 停電時に太陽光発電電力が無い状態で蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロになってしまった場合、本製品は停止します。その場合は、家電製品などへの給電ができなくなりますのでご注意ください。対応方法について詳しくは、「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(44 ページ)を参照してください。

停電時の家電製品の使用について

- 自動開閉器が切り替わる時、5 秒程度電気の供給が瞬断します。
- 太陽光発電電力が少なかったり、蓄電池ユニットの残量が少なくなると、ハイブリッド蓄電システムからの供給電力が不安定となり途切れる場合があります。そのため、途中で電源が途切れると不具合を生じる家電製品や機器（医療機器等）は接続しないでください。
- 停電でルーターの電源が喪失すると、専用アプリは利用できなくなります。ルーターの電源が喪失した状態でハイブリッド蓄電システムを操作する場合は室内リモコンにて行ってください。
- 特定の電気波形（半波整流）で動作する家電製品や機器を接続すると、ハイブリッド蓄電システムが自立運転を停止し、再起動を繰り返す場合があります。その際は使用している機器をコンセントから抜き取ってください。
- センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつく場合や、動作しない場合があります。
- 突入電流が大きい家電製品や業務用機器などは動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などは停電時の使用をなるべく控えてください。製品の使用が必要となる場合は、使用する前に他の家電製品を減らすなど、ハイブリッド蓄電システムが供給できる電力を超えないように工夫してください。なお、使用する際に過電流保護が働き、自立運転ができない場合があります。
- ハイブリッド蓄電システムが供給できる電力以上の家電製品が接続された場合は、保護機能が働き電力の供給を停止します。その場合は、接続している家電製品の数を減らしてください。また、エアコンや掃除機など大きな突入電流が発生する家電製品を使用する際に、同様の現象が発生する場合があります。

家電製品をご使用の際は、下記のとおり注意してください。

生命にかかわる家電製品	接続禁止 ^{※1}	医療機器等
安全にかかわる機器	接続禁止 ^{※1}	エレベーター等
途中で電源が途切れると不具合を生じる家電製品	接続禁止 ^{※1}	デスクトップ型パソコン等
特定の電気波形（半波整流）で動作する家電製品 ^{※2}	動作しない場合がある ^{※3}	ドライヤー ^{※4} 、温水洗浄便座、電気カーペット等
突入電流が大きい家電製品 ^{※2}	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、業務用機器等
消費電力（動作電流）が大きい家電製品 ^{※2}	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、業務用機器等
保温機能がある家電製品 ^{※2}	動作しない場合がある	炊飯器、温水洗浄便座等

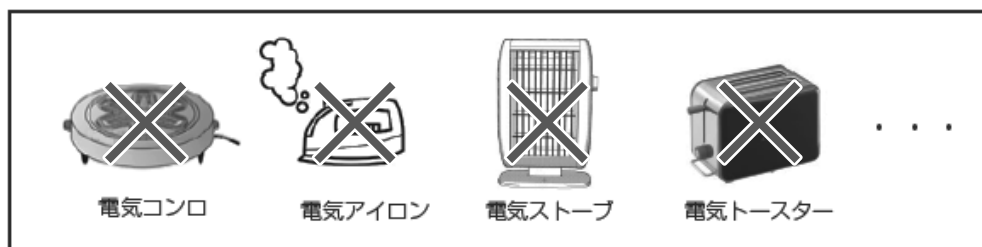
- ※ 1: 停電時は該当する家電製品や機器は使用せず、それらが接続されている分岐ブレーカを OFF にしてください。
- ※ 2: ハイブリッド蓄電システムが自立運転を停止し、再起動を繰り返す場合があります。その際は使用している家電製品のコンセントをいくつか抜いてください。
- ※ 3: 特定の設定時にのみ特定の電気波形で動作する家電製品や機器の場合は、ハイブリッド蓄電システムが自立運転を停止し、再起動を繰り返す場合があります。その際は使用している機器のコンセントを抜いてください。
- ※ 4: ドライヤーを弱モードで使用する場合は、動作しない場合があります。その場合は「強モード」で使用してください。



注意

本製品では災害による停電の場合、自動的に自立運転に切り替えて電力供給を開始するため、通電火災を引き起こすおそれがあります。そのため、電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品を使用する際は、通電しても安全であることを確認してから、本製品に接続してください。

■ 電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品一例



停電時にご利用できる家電製品の目安

「蓄電池放電下限値（非常時安心設定）：70%」の場合は、以下のとおりに家電製品の使用が可能です。

接続家電製品例	蓄電池容量	システム機種名	蓄電池ユニット型番	同時使用可能時間※ ¹
LED 照明 (10 W) 冷蔵庫 (70 W) テレビ (150 W)	7.4 kWh	ESS-E2MJ	ES-DYMJ	最大 11 時間
ルーター・TV ブースター等 (10 W) 携帯電話 (2 台 10 W)	14.9 kWh	ESS-E2XJ	ES-DYMJ × 2	最大 22 時間

- 実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。
- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、太陽光が発電している時にのみご利用いただけます。

※ 1: 同時使用可能時間は、蓄電池の劣化を見込んでいます。
蓄電池容量 (7.4 kWh / 14.9 kWh) : 劣化 60% (容量保証 15 年)

復電時の操作

- 停電後、復電した際の特別な操作は必要ありません。
- 復電後、本システム（内部 PV の太陽光発電を含む）は約 5 分後に起動し、その後停電前に設定されていた自動運転モードで動作します。

ネットワークサービス

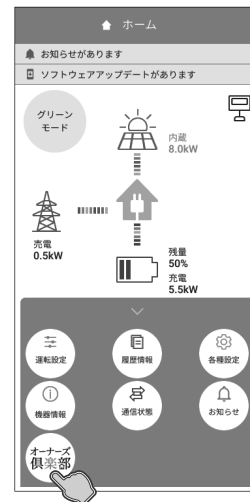
ネットワークサービスに加入されることで、より便利にハイブリッド蓄電システムをご活用いただけます。
詳しくはニチコンオーナーズ倶楽部※¹をご参照ください。

- オーナーズ倶楽部へは外部ブラウザからのほかに専用アプリの「オーナーズ倶楽部」ボタンをタッチすることでアクセスすることができます。※²
- 各種ネットワークサービスをご利用の際は、ニチコンオーナーズ倶楽部にリンクされている「ニチコンのネットワークサービスについて※³」をご確認のうえ、ニチコンオーナーズ倶楽部からお申込みください。

■ 「オーナーズ倶楽部」表示例



■ ホーム画面「オーナーズ倶楽部」ボタン表示例※²



- ※ 1: ニチコンオーナーズ倶楽部 <https://owners.nichicon.co.jp>
- ※ 2: 専用アプリの「オーナーズ倶楽部」ボタンからアクセスした場合は、オーナーズ倶楽部をアプリ上で WebView 表示します。表示中に画面右上の「×」（閉じる）をタッチすると WebView 表示を終了し、専用アプリのホーム画面を表示します。
- ※ 3: ニチコンのネットワークサービスについて https://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf/network_service_manual.pdf

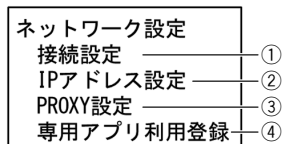
ネットワークの設定【室内リモコンのみ】

本システムのネットワーク設定は、室内リモコンで設定することができます。

メモ

- ルーターの電源が喪失するなどによりインターネット接続が切断された場合や、IP アドレスなどの設定が間違っている場合は、点検コード「BC551」を表示します。その場合は、ネットワーク環境を見直してください。
- 専用アプリでは、ネットワークの設定はできません。

■「ネットワーク設定」画面



① 接続設定

ネットワークの接続方式を設定します。

①① ルーター有線接続*

室内リモコンと無線 LAN ルーターを有線 LAN ケーブルで接続する場合に設定します。

①② ルーター無線接続

室内リモコンと無線 LAN ルーターを無線 LAN で接続する場合に設定します。

※ 規定のルーターは室内リモコンとの無線 LAN 接続に対応していませんので、通常は「ルーター有線接続」を設定してください。接続方式に関して詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

② IP アドレス設定

室内リモコンの IP アドレスを設定します。

②① 自動設定* (推奨)

室内リモコンの IP アドレスを自動で設定します。

②② 手動設定 (IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ / 優先 DNS / 代替 DNS)

室内リモコンの IP アドレスを手動で設定します。設定は各項目ごとに行ってください。

③ PROXY 設定

室内リモコンの PROXY を設定します。通常設定していただく必要はありません。

③① ON (PROXY アドレス / ポート番号)

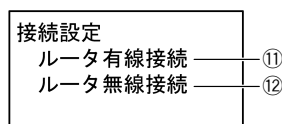
③② OFF*

④ 専用アプリ利用登録

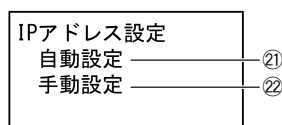
④① QR コード表示

QR コードを用いて専用アプリの利用登録を行います。

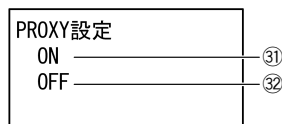
■接続設定画面



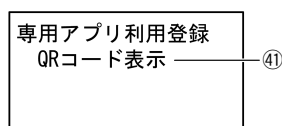
■ IP アドレス設定画面



■ PROXY 設定画面



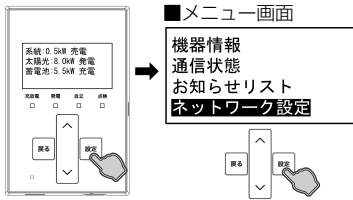
■専用アプリ利用登録画面



★：製品出荷時の設定値

ネットワークの設定をする【室内リモコンのみ】

1 「設定」をタッチする

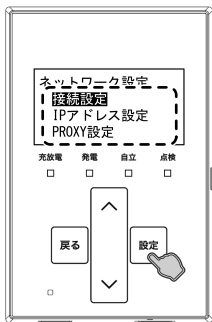


メニュー画面で「ネットワーク設定」を選択し「設定」をタッチすると、「ネットワーク設定」画面に切り替わります。

メモ

- 「∧/∨」をタッチすると選択メニューをスクロール表示して選択できます。

2 各種項目を設定する



各設定画面の表示に従って設定してください。(40 ページ)

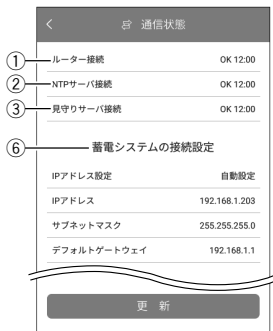
ネットワークの通信状態について

ネットワークの通信状態を表示します。

■「通信状態」画面例

● 専用アプリ

● 出力制御対象外の場合

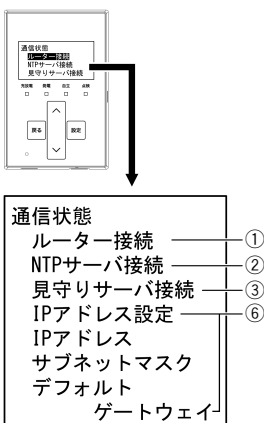


● 出力制御対象の場合

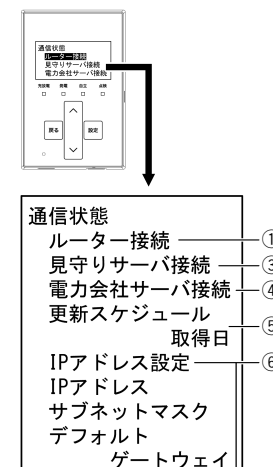


● 室内リモコン

● 出力制御対象外の場合



● 出力制御対象の場合



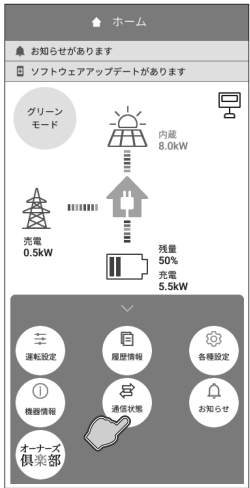
- ルーター接続**
ルーターとの接続状態^{*1}を表示します。
- NTP サーバ接続**
時刻情報サーバとの接続状態^{*2}を表示します。
● 出力制御対象時は表示しません。
- 見守りサーバ接続**
ニチコン見守りサーバとの接続状態^{*2}を表示します。
- 電力会社サーバ接続**
電力会社サーバとの接続状態^{*2}を表示します。
● 出力制御対象時のみ表示します。
- 更新スケジュール取得日**
出力制御の更新スケジュール取得日を表示します。
● 出力制御対象時のみ表示します。
- 蓄電システムの接続設定 (IP アドレス設定 / IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ)**
ハイブリッド蓄電システムのネットワーク接続設定内容を表示します。
● ネットワーク設定を変更する場合は、室内リモコンで設定してください。

- ※ 1: 室内リモコンがルーターと接続できていない場合は「NG」と表示します。
- ※ 2: 室内リモコンが各サーバに接続できていない場合は「NG」と表示します。

ネットワークの通信状態を確認する

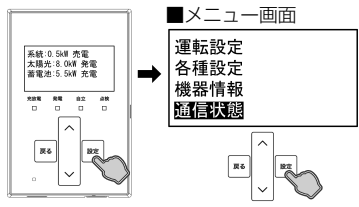
1 「通信状態」をタッチする

● 専用アプリ



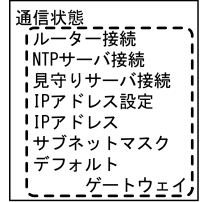
● 室内リモコン

■メニュー画面



■通信状態画面

●出力制御対象外画面例




- 専用アプリの場合
ドローメニューの「通信状態」をタッチ→「通信状態」画面に切り替わります。
 - 室内リモコンの場合
「設定」をタッチ→メニュー画面で「通信状態」を選択し「設定」をタッチすると、「通信状態」画面に切り替わります。
- ✎ メモ
- 「∧/∨」をタッチすると選択メニューをスクロール表示して選択できます。

2 接続状態を確認する

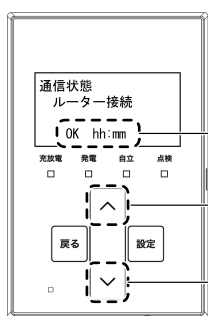
● 専用アプリ

● 出力制御対象外画面例



● 室内リモコン

● 「ルーター接続」画面例



接続判定結果と判定時間を表示


前のメニューを表示

次のメニューを表示


- 専用アプリの場合
ネットワーク接続の通信状態(41 ページ参照)を確認できます。「更新」をタッチすると、接続情報を更新します。
 - 室内リモコンの場合
ネットワーク接続の通信状態(41 ページ参照)を確認できます。各項目を選択し「設定」をタッチすると、各項目の詳細画面に切り替わります。
- ✎ メモ
- 「∧/∨」をタッチすると前後の「通信状態」項目の内容を表示します。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 確認を終了する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



- 専用アプリの場合
ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、ホーム画面に戻ります。
 - 室内リモコンの場合
「戻る」をタッチすると、前画面に戻ります。
- ✎ メモ
- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

こんなときは

ブザー音や異音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ピッ音	室内リモコンをボタン操作するときの操作音です。
ピッピッピッピッ音	点検コードが発生したときに発生する室内リモコンのブザー音です。
ピッピッ音	
ジージー音	製品内部の回路が動作するときが発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャン音	製品内部の機械部分が動作するときが発生する音です。(運転開始時と停止時に発生します)
ブーン音	
カチャカチャ音	自動開閉器の内部スイッチが切り替わるときに発生する音です。(停電/復電時に発生します)

メモ

- 聴覚感覚が高い方にとって、運転時の高周波音は不快に感じる場合がありますが異常ではありません。
- 室内リモコンのブザー音(ピッピッピッピッ音またはピッピッ音)が鳴ったときは、画面に表示されたメッセージおよび「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき」(51 ページ) の処置に従ってください。

動作がおかしいと感じたとき

ブレーカが頻繁に落ちる場合

お買い上げの販売会社へご連絡ください。

契約電力を変更する場合

契約容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

停電時に家電製品が使用できない場合

- ブレーカが落ちていないか確認してください。ブレーカが落ちている場合は、ブレーカを上げてください。
- 室内リモコンもしくは専用アプリに点検コードが表示されている場合は、メッセージおよび「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき」(51 ページ) の処置に従ってください。
- 「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(44 ページ) を参照してください。太陽光発電がなく、蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロの場合は、本製品を利用することはできません。
- 上記要因でない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

- 室内リモコンの電源スイッチ(スライドスイッチ)がOFFの場合は、室内リモコンの画面は表示されません。
- 停電時、太陽光発電がなく、蓄電池残量がゼロの場合は、室内リモコンの画面は表示されません。「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(44 ページ) の処置を行っても室内リモコンの画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

100%まで充電できない場合

- 充電時間帯に他の家電製品(電気温水器、床暖房など)を多く使っている場合、電力契約によっては、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直しなどについて、お買い上げの販売会社にご相談ください。
- 充電時間が短い場合、100%まで充電できない場合があります。「蓄電池ユニットの充放電時刻を変更する」(24 ページ) を参照してください。
- 蓄電池充電上限値が設定されている場合は、設定されている値までしか充電できません。「蓄電池ユニットの各種設定について」(26 ページ) の「蓄電池充電上限値」を確認してください。
- 日頃グリーンモードによる太陽光発電の余剰電力充電をご利用になっている場合、天候によっては余剰電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。

蓄電池ユニット (ES-DYMJ) を後から増設した場合

蓄電池ユニットの増設直後にハイブリッド蓄電システムを運転開始させると、動作準備のため蓄電池ユニットの充電を直ちに開始する場合があります。動作準備が完了すると、開始前の運転モードで動作します。

動作準備開始時はお知らせリスト以下のメッセージ (専用アプリのみ) が表示されます。

「蓄電池ユニットの残量を調整しています。調整が完了するまで、しばらくお待ちください。調整が完了すると、調整開始前の運転モードに切り替わります。なお、調整中に運転モードを変更した場合は、直ちに變更せずに調整完了後に動作します。」

なお、動作準備中は以下のとおりにハイブリッド蓄電システムが動作します。

- 自動運転モードの充放電時間帯 (24 ページ) や蓄電池充電上限値 (26 ページ) の設定に関係なく蓄電池ユニットへ充電を行います。動作準備完了時に蓄電池残量が、設定されている充電上限値の範囲外となっている場合があります。
- 太陽光発電電力を優先的に使用して蓄電池ユニットへ充電を行います。太陽光発電の電力量によっては不足分を電力会社から買電します。
- 動作準備中に運転モードを変更した場合は、動作準備完了後に動作します。

太陽光発電電力で充電できない場合

- 雨天・曇天時は十分な発電電力が確保できず、充電ができない場合があります。
- 蓄電池残量が 100% だった場合、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。
- 売電モードで動作中の場合は、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。充電したい場合には、運転モードをグリーンモードに設定してください。
- 蓄電池ユニットの充電電力の低下により、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電できずに売電される場合があります。

夏季に充放電・発電動作が停止した場合

気温の上昇や日射により、パワーコンディショナあるいは蓄電池ユニットが高温になった場合に一時的にハイブリッド蓄電システムを停止する場合があります。機器の温度が下がると自動で充放電・発電動作を再開します。

蓄電池ユニットが充放電できない場合

- 蓄電池ユニットの充電上限値および放電下限値が設定されている場合は、設定されている値までしか充電および放電ができません。(「蓄電池ユニットの各種設定について」(26 ページ) 参照)
- 太陽光発電が売電中の場合、蓄電池ユニットから放電することはできません。

停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合

夜間など太陽光発電電力がない状態で停電になり、停電時に蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロになってしまった場合は、ハイブリッド蓄電システムが停止します。その場合は、専用アプリを利用することができず、室内リモコンのボタンをタッチしても何も表示されません。太陽光発電電力が得られた場合と得られない場合とで対応が異なりますので、状況に応じて以下を参照してください。

- 太陽光発電電力が得られた場合
ハイブリッド蓄電システムが起動すると同時に、室内リモコンに点検コード「BF404」を表示する場合があります。その後太陽光発電電力による蓄電池ユニットの充電が進むと、点検コード「BF404」は自動的に解消します。

メモ

- その他の点検コードが表示された場合は、「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき」(51 ページ) の処置に従ってください。
- 太陽光発電電力が得られない場合
復電するまで本製品を利用することはできません。
復電後に点検コード「BF404」が表示された場合は自動的に「蓄電池充電」を行い、蓄電池ユニットの充電が進むと点検コード「BF404」は自動的に解消します。

専用アプリが通信失敗した場合

専用アプリが何らかの原因で室内リモコンと通信できなくなると、通信失敗を知らせるダイアログが表示されます。

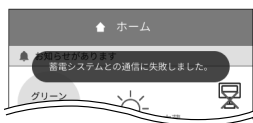
その後、室内リモコンと通信ができないまま専用アプリを操作すると、通信失敗画面「Ex-x」が表示されます。(x にはそれぞれ数字が入ります。) 通信失敗画面が表示されたときは、表示内容に従って処置してください。

なお、処置によってアプリの再起動が行われた際に、点検コード「Bl69x」の画面が表示される場合があります。(x には数字が入ります。)

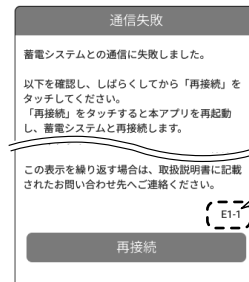
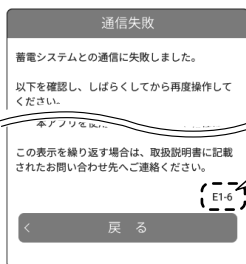
その場合は、表示内容に従って処置してください。(57 ページ)

■ 専用アプリ画面例

- ダイアログ表示例 (通信失敗)



- 「通信失敗」画面例



室内リモコンがネットワークに接続できない場合

室内リモコンがネットワークに接続できない状況が継続すると、点検コード「BC551」もしくは「BC562」がお知らせリストに記録されます。これらの点検コードが発生すると、専用アプリやニチコンのネットワークサービスおよびソフトウェア更新のサービスなどがご利用できません。

お知らせリストに点検コードが記録された場合は、「点検コード「BC551」について」(60 ページ) もしくは「点検コード「BC562」について」(60 ページ) の処置に従ってください。

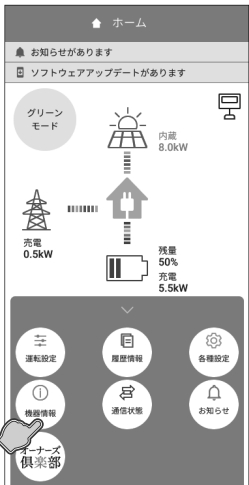
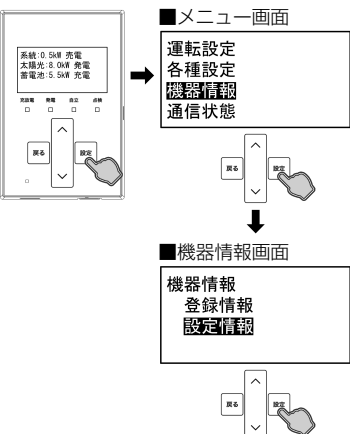
その他ご使用に関する操作方法等

停電発生時の動作を変更したい場合

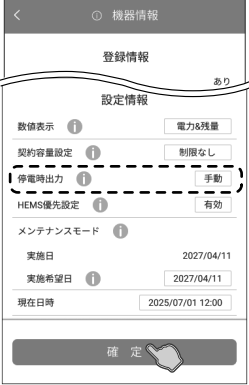
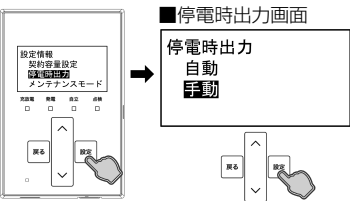
停電が発生した際の電力供給を自動または手動のどちらで開始するかを設定できます。下記に従って、操作を行ってください。

● 停電発生前の事前設定

1 「機器情報」をタッチする

<p>● 専用アプリ</p> 	<p>● 室内リモコン</p> 	<p>● 専用アプリの場合</p> <p>ドローメニューの「機器情報」をタッチ→「機器情報」画面に切り替わります。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none">「機器情報」画面はスクロールして項目を表示してください。 <p>● 室内リモコンの場合</p> <p>「設定」をタッチ→メニュー画面で「機器情報」を選択し「設定」をタッチ→機器情報画面で「設定情報」を選択し「設定」をタッチ→「設定情報」画面に切り替わります。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none">「上/下」をタッチして項目を選択します。
---	--	--

2 「停電時出力」を変更する

<p>● 専用アプリ</p> 	<p>● 室内リモコン</p> 	<p>● 専用アプリの場合</p> <p>「停電時出力」を「自動」または「手動」(32 ページ参照)に設定し、「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、変更内容を確定してホーム画面に戻ります。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none">「機器情報」画面はスクロールして項目を表示してください。機器情報を変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「機器情報」画面に戻ります。 <p>● 室内リモコンの場合</p> <p>設定情報画面で「停電時出力」を選択し「設定」をタッチ→停電時出力画面で「自動」または「手動」(32 ページ参照)を選択し「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると、変更内容を確定して前画面に戻ります。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none">「上/下」をタッチして項目を選択します。「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。
--	---	--

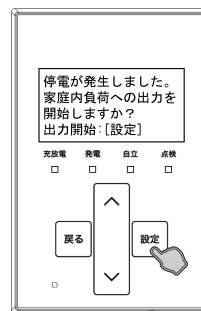
● 停電発生時の操作

● 「停電時出力」が「自動」の場合

自動的に家電製品への電力供給を行います。
室内リモコンの操作は必要ありません。

● 「停電時出力」が「手動」の場合

■ 「停電時出力確認」画面例



停電が発生すると、室内リモコンに確認画面が表示されます。配線やコンセントと接続している家電製品などが安全であることを確認してから、室内リモコンの「設定」をタッチしてください。

「設定」をタッチすると前画面に戻り、家電製品への電力供給を行います。繰り返し停電が発生した場合は、その都度操作をしてください。

長期不在の場合

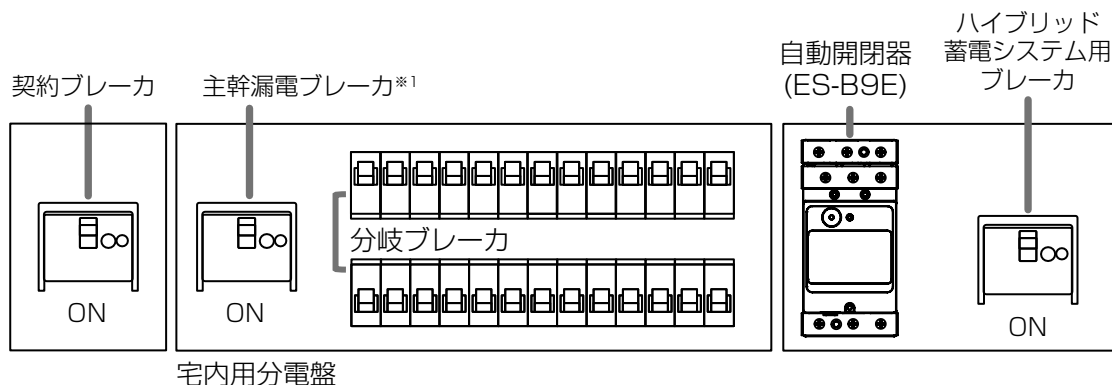
長期不在となる場合は、運転モードを「グリーンモード」もしくは「売電モード」に設定し、「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」、「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」は「ON」の状態を維持してください。

重要

蓄電池ユニットの過放電を防止するため、通常は長期不在の間もハイブリッド蓄電システムの運転を継続するようにしてください。お客様の事情により、ハイブリッド蓄電システムの運転状態を切り替えたい場合は、以下の事項に注意してご使用ください。

- 契約ブレーカのみを OFF にすることで、ハイブリッド蓄電システムは自立運転に切り替わり、電力会社から買電せずに運転を継続することができます。
ただし、自立運転中に太陽光発電電力が無い状態で蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロになってしまった場合、ハイブリッド蓄電システムは停止します。その場合は、家電製品などへの給電ができなくなりますのでご注意ください。
- やむを得ない理由によりハイブリッド蓄電システムを停止する場合は、「ハイブリッド蓄電システムを停止させて不在する場合」(47 ページ) の手順に従って対応してください。

■ 分電盤、ブレーカ配置例



※ 1: 主幹漏電ブレーカは分岐ブレーカの隣に配置しています。

メモ

- 家電製品に電気を供給したくない場合は、宅内用分電盤の個々の分岐ブレーカを「OFF」に切り替えてください。
- 点検コードが出た状態で放置しないでください。蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換(有償)が必要となります。

ハイブリッド蓄電システムを停止させて不在する場合

ハイブリッド蓄電システムを長期間停止する場合は、過放電を防止するため、本製品内部の操作が必要となります。

お客様は本製品内部を開けられず操作できません。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。

また、長期不在から戻られた際はお買い上げの販売会社にご連絡のうえ、ハイブリッド蓄電システムを速やかに起動させてください。

重要 「過放電にご注意ください」

本製品は、太陽電池モジュールが発電すると、ハイブリッド蓄電システムを自動で起動する制御がはたりますが、契約ブレーカやハイブリッド蓄電システム用ブレーカが「OFF」の場合は、制御中に蓄電池ユニットの充電が行えず、蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。過放電を防止するために、本製品内部の操作、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカは正しく操作する必要があります。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。

なお、ハイブリッド蓄電システムを停止した後は、停止してから1年以内に必ず起動させてください。停止期間が1年間を超えると蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。

- 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを長期間「OFF」にする、あるいはハイブリッド蓄電システムを長期間「運転停止」する必要がある場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 蓄電池ユニットを残量が30%以上になるまで充電する。
 - ② ハイブリッド蓄電システムを停止させる（47ページ参照）。
 - ③ 本製品内部の「PV直流開閉器」（1～5）を「OFF」にする。
※お客様は操作できません。
 - ④ 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする。
- 上記操作後に、再度契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「ON」にする、あるいはハイブリッド蓄電システムの起動を再開する場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「ON」にする。
 - ② 本製品内部の「PV直流開閉器」（1～5）を「ON」にする。
※お客様は操作できません。
 - ③ ハイブリッド蓄電システムを起動させる（49ページ参照）。

ハイブリッド蓄電システムを停止させる場合

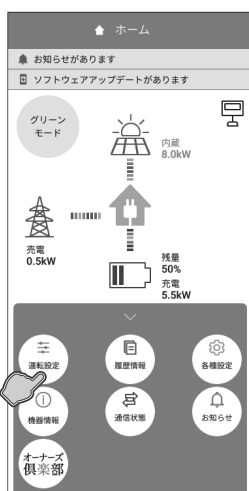
風水害により水没のおそれがある場合やサービス対応のためなどでハイブリッド蓄電システムを停止させる場合は、室内リモコンまたは専用アプリより下記手順に従って操作してください。

重要

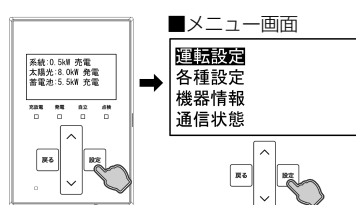
- ハイブリッド蓄電システムを運転停止の状態では放置しないでください。蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。ハイブリッド蓄電システムを運転停止した際は、速やかに起動させ運転状態にしてください。
- ハイブリッド蓄電システムを停止させる場合を除き、室内リモコンの電源をむやみにOFFにしないでください。OFFにするとその間ハイブリッド蓄電システムは運転停止の状態となりますのでご注意ください。

1 「運転設定」をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

ドローメニューの「運転設定」をタッチ→「運転設定」画面に切り替わります。

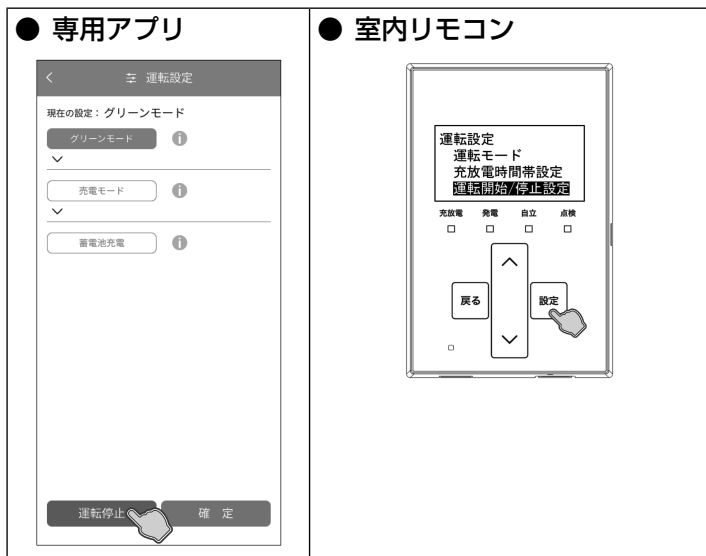
● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「運転設定」を選択し「設定」をタッチすると、「運転設定」画面に切り替わります。

メモ

- 「∧ / ∨」をタッチして項目を選択します。

2 「運転停止」(室内リモコンは「運転開始 / 停止設定」を選択して「設定」) をタッチする



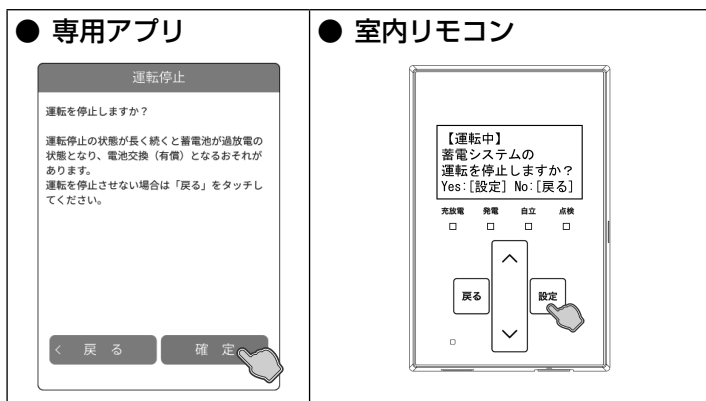
● 専用アプリの場合
「運転停止」をタッチすると、運転停止の確認画面に切り替わります。

● 室内リモコンの場合
運転設定画面で「運転開始 / 停止設定」を選択し「設定」をタッチすると、運転停止の確認画面に切り替わります。

メモ

- 「∧ / ∨」をタッチすると選択メニューをスクロール表示して選択できます。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 ハイブリッド蓄電システムの運転を停止する



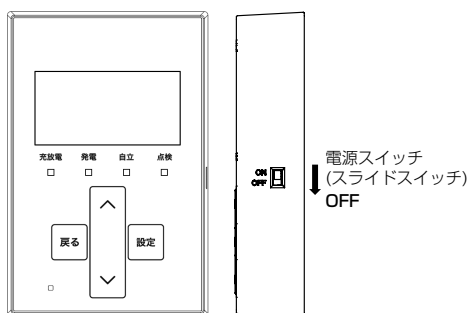
● 専用アプリの場合
「確定」をタッチすると、ハイブリッド蓄電システムの運転を停止して、停止処理画面に切り替わります。「戻る」をタッチすると、運転を停止せずに前画面に戻ります。

● 室内リモコンの場合
「設定」をタッチすると、ハイブリッド蓄電システムの運転を停止して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、運転を停止せずに前画面に戻ります。

メモ

- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

4 室内リモコンの電源を「OFF」にする



室内リモコンの電源スイッチ (スライドスイッチ) を OFF にしてください。

5 ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする

「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にしてください。

メモ

- 「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」の位置は、46 ページを参照してください。

ハイブリッド蓄電システムを起動させる場合

ハイブリッド蓄電システムを起動させる場合は、室内リモコンまたは専用アプリより下記手順に従って操作してください。

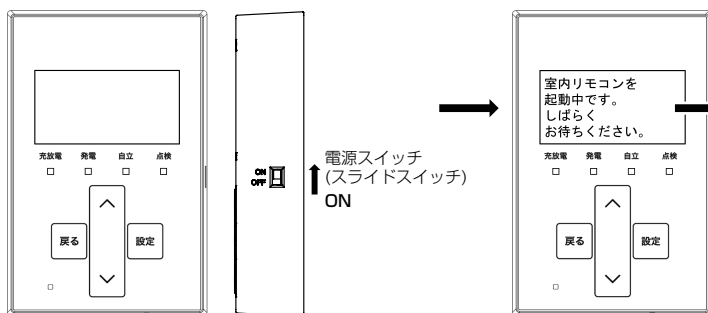
1 ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「ON」にする

「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」を「ON」にしてください。



- 「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」の位置は、46 ページを参照してください。

2 室内リモコンの電源を「ON」にする



室内リモコンの電源スイッチ (スライドスイッチ) を ON にしてください。本システムとの通信が確認できると、「ホーム」画面に切り替わります。



- 室内リモコン起動中およびハイブリッド蓄電システム通信確認中は、室内リモコンの電源を「OFF」しないでください。

3 専用アプリを起動して室内リモコンに接続する (専用アプリを利用する場合)

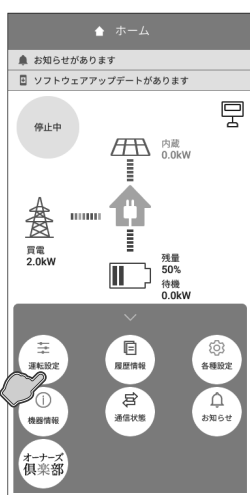
● 専用アプリ

接続方法については「専用アプリの設定について」(16 ページ) を参照してください。室内リモコンと接続すると、「ホーム」画面に切り替わります。

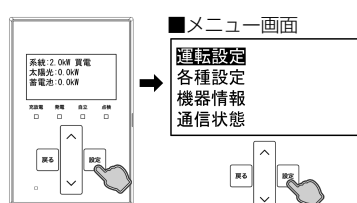


4 「運転設定」をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

ドローメニューの「運転設定」をタッチ→「運転設定」画面に切り替わります。

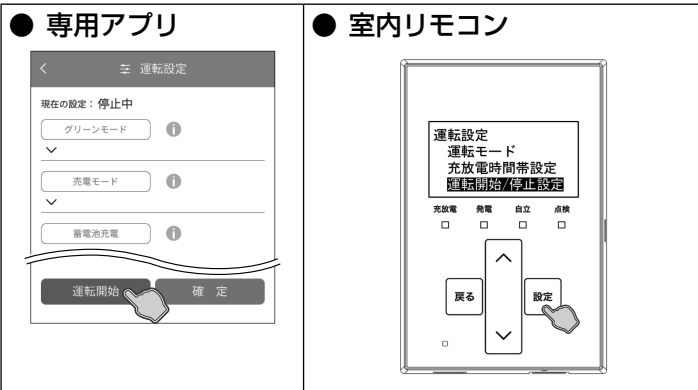
● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「運転設定」を選択し「設定」をタッチすると、「運転設定」画面に切り替わります。



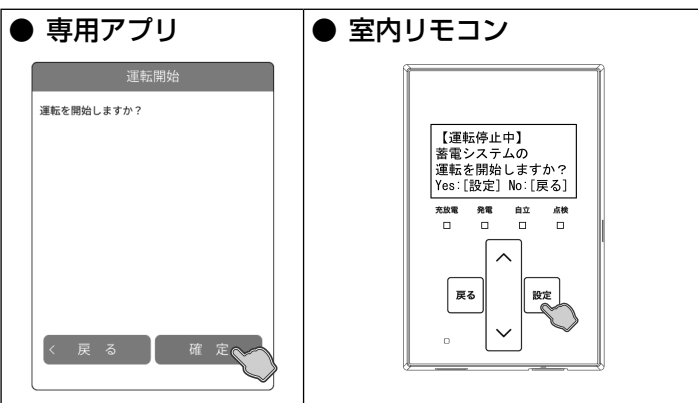
- 「∧/∨」をタッチして項目を選択します。

5 「運転開始」(室内リモコンは「運転開始 / 停止設定」を選択して「設定」) をタッチする



- **専用アプリの場合**
「運転開始」をタッチすると、運転開始の確認画面に切り替わります。
- **室内リモコンの場合**
運転設定画面で「運転開始 / 停止設定」を選択し「設定」をタッチすると、運転開始の確認画面に切り替わります。
- **メモ**
「↑ / ↓」をタッチして項目を選択します。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

6 ハイブリッド蓄電システムの運転を開始する



- **専用アプリの場合**
「確定」をタッチすると、ハイブリッド蓄電システムの運転を開始して「ホーム」画面に切り替わります。「戻る」をタッチすると、運転を開始せずに前画面に戻ります。
- **室内リモコンの場合**
「設定」をタッチすると、ハイブリッド蓄電システムの運転を開始して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、運転を開始せずに前画面に戻ります。
- **メモ**
「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

低温時の動作について

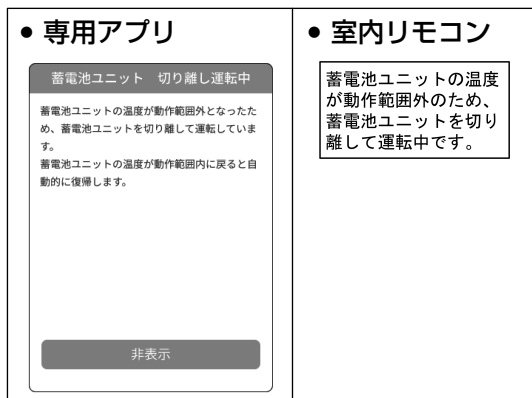
本製品の蓄電池ユニットはリチウムイオン電池を使用しています。そのため、低温時（蓄電池ユニットの周辺温度が約 10℃以下）の特性変化により、蓄電池ユニットの蓄電池容量が少なくなる場合がありますが故障ではありません。

- 蓄電池ユニット内部の温度センサが約 -10℃以下を検知すると、ハイブリッド蓄電システムは蓄電池ユニットの充放電を停止して動作を継続します。蓄電池ユニットの充放電が停止している間は、専用アプリおよび室内リモコンの画面に案内を表示すると同時に、蓄電池ユニットの動作に関する項目が選択および設定できなくなりますのでご注意ください。その後温度センサが約 -9℃以上を検知すると、自動的に動作が再開し、画面の案内表示が解除されます。

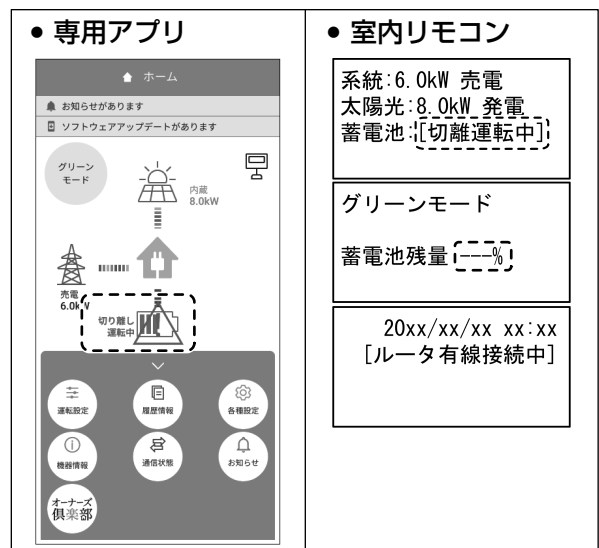
メモ

- 蓄電池ユニットの構造上、温度センサが検知する温度と実際の外気温は異なる場合があります。
- ハイブリッド蓄電システムが蓄電池ユニットの充放電を停止した状態で動作している間は、太陽光発電の動作のみを継続します。
- 専用アプリの再起動や室内リモコンの電源を OFF → ON すると、お知らせが再度表示される場合があります。

蓄電池ユニット停止時のお知らせ画面例



蓄電池ユニット停止中のホーム画面例

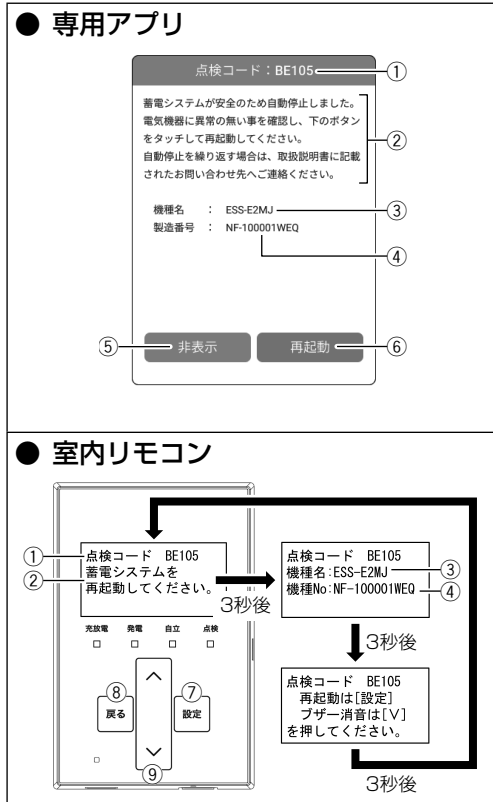


点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき

ハイブリッド蓄電システムが何らかの原因で停止すると、点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」(xxx には 3 桁の数字が入ります) が表示されます。点検コードが表示されたときは、「点検コードのメッセージと処置」(52 ページ) に従って処置してください。

お買い上げの販売会社またはニチコン株式会社専用ダイヤルにご連絡いただく際は、画面に表示される機種名、製造番号、点検コードを合わせてご連絡ください。(「アフターサービスについて」(65 ページ) 参照)

■ 点検コード画面例



- ① **点検コード**
発生した点検コードを表示します。
- ② **メッセージ**
点検コードの内容を表示します。(52 ページ)
- ③ **機種名 / ④ 製造番号 (機種 No)**
システム機種名と製造番号を表示します。(31 ページ)
- ⑤ **非表示【専用アプリ】**
タッチすると、点検コードを非表示にします。30 秒経過しても解消されない場合は再度表示します(「BE000」除く)。
- ⑥ **再起動【専用アプリ】**
タッチすると、ハイブリッド蓄電システムを再起動します。
- ⑦ **設定【室内リモコン】**
タッチすると、ハイブリッド蓄電システムを再起動します。
- ⑧ **戻る【室内リモコン】**
タッチすると、ブザー音を停止して 30 秒間点検コードを非表示にします。
- ⑨ **消音 / V ボタン【室内リモコン】**
タッチすると、ブザー音を停止します。

メモ

- 室内リモコンの点検コード画面は 3 秒ごとに自動で切り替わります。

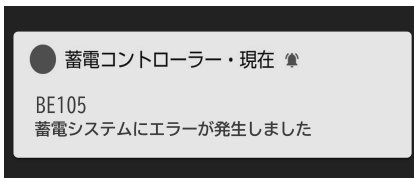
重要

点検コードが表示された状態で放置しないでください。蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換(有償)が必要となります。

スマートフォンの通知で点検コードを受信したとき

専用アプリが通信していない状態でハイブリッド蓄電システムに点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」が発生した場合は、スマートフォンに通知を表示します。通知が表示されたときは、専用アプリでお知らせメッセージを確認し、「点検コードのメッセージと処置」(52 ページ) に従って処置してください。

■ 専用アプリ：通知例



■ 専用アプリ：アプリアイコン例 (通知あり)



メモ

- 通知機能のご利用には、スマートフォン側で通知の送信を許可する必要があります。(16 ページ)
- 通知は、本製品と接続したすべてのスマートフォンに送信されます。

点検コードのメッセージと処置

点検コード	専用アプリメッセージ	室内リモコンメッセージ	処置
BE091, BE105, BE106, BE110, BE112, BE114	蓄電システムが安全のため自動停止しました。電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンをタッチして再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システムを再起動してください。	メッセージに従い、ハイブリッド蓄電システムを再起動してください。(51 ページ) 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE201, BE202, BE203	接続機器の消費電力がパワーコンディショナの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。ご家庭の家電製品の電源をいくつか切って、下のボタンをタッチして再起動してください。掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	停電時に本製品からの給電で電力が賄いきれなくなると表示されます。掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーター等、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
BE303, BE304	蓄電システムが安全のため自動停止しました。電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンをタッチして再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システムを再起動してください。	詳しくは「点検コード「BE303」、「BE304」について」(55 ページ)を参照してください。
BE305, BE401, BE402, BE406, BE407, BE408, BE409, BE411, BE412, BE414, BE415, BE416, BE419, BE422, BE424, BE433, BE435, BE436, BE437, BE439, BE446, BE447, BE448, BE452, BE453, BE454	蓄電システムが安全のため自動停止しました。電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンをタッチして再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システムを再起動してください。	メッセージに従い、ハイブリッド蓄電システムを再起動してください。(51 ページ) 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE456, BE458	ソフトウェアの更新に失敗しました。下のボタンをタッチして再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	ソフトウェアの更新に失敗しました。	メッセージの指示に従い再起動を実施後、再度ソフトウェアの更新を実施してください。再度自動停止した場合には、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE466, BE502, BE504, BE507, BE509, BE510, BE511, BE513, BE514, BE515, BE518, BE519, BE521	蓄電システムが安全のため自動停止しました。電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンをタッチして再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システムを再起動してください。	メッセージに従い、ハイブリッド蓄電システムを再起動してください。(51 ページ) 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検コード	専用アプリメッセージ	室内リモコンメッセージ	処置
BE522, BE523, BE527, BE529, BE530, BE531, BE532, BE533, BE540, BE541, BE542, BE543, BE544, BE545, BE546, BE547, BE549	蓄電システムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンをタッチして再起動してください。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システムを再起動してください。	メッセージに従い、ハイブリッド蓄電システムを再起動してください。(51 ページ) 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BF111, BF116	蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	安全確認後、自動的に復帰します。	ハイブリッド蓄電システムは自動的に復帰するため操作の必要はありません。しばらくお待ちください。 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BF306	自動切替開閉器の温度が上昇したため、安全のため自動切替開閉器を遮断しました。 自動切替開閉器の復帰ボタンを 1 回短押ししてください。 復帰ボタンを押しても自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	自動切替開閉器を遮断しました。	詳しくは「点検コード「BF306」について」(56 ページ)を参照してください。
BF403	蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	安全確認後、自動的に復帰します。	ハイブリッド蓄電システムは自動的に復帰するため操作の必要はありません。しばらくお待ちください。 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BF404	蓄電池ユニットの電圧が低下しています。 蓄電池保護のため、自動的に運転モードを蓄電池充電に設定し、蓄電池ユニットへの充電を開始します。 充電中は他の運転モードに変更できません。 充電が完了すると、蓄電池充電が設定される直前の運転モードに切り替わります。	蓄電池ユニットへの充電が必要です。	詳しくは「点検コード「BF404」について」(56 ページ)を参照してください。
BF405	蓄電池ユニットの温度が動作範囲外となりました。 蓄電池ユニット周囲の温度や環境を確認してください。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電池ユニットの温度が動作範囲外となりました。	詳しくは「点検コード「BF405」について」(56 ページ)を参照してください。
BF410, BF413, BF432, BF443, BF444, BF445, BF449, BF512, BF521, BF527, BF544, BF550	蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	安全確認後、自動的に復帰します。	ハイブリッド蓄電システムは自動的に復帰するため操作の必要はありません。しばらくお待ちください。 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検コード	専用アプリメッセージ	室内リモコンメッセージ	処置
BI417	蓄電池ユニットの動作寿命が近づいてきました。 動作寿命を迎えると、蓄電池ユニットの充放電ができなくなります。 蓄電池ユニットの交換を希望される場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。	蓄電池ユニットの動作寿命が近づいてきました。	詳しくは「蓄電池ユニットのメンテナンスモードについて」(62ページ)を参照してください
BI418	蓄電池ユニットが動作寿命を迎えたため、蓄電池ユニットを切り離して運転しています。 蓄電池ユニットを再度動作させる場合は、蓄電池ユニットの交換が必要となりますので、お買い上げの販売会社へご連絡ください。	蓄電池ユニットが動作寿命のため、切り離し運転中です。	
BI459	蓄電池ユニットが長期間満充電にならなかったため、一時的に蓄電池充電上限値を「100%」にしています。 満充電に達すると、蓄電池充電上限値は元の設定値に自動的に戻ります。	蓄電池充電上限値を一時的に「100%」にしています。	長期間満充電されない場合に表示されます。表示後も満充電にならない場合は、満充電できるよう各種設定を確認してください。(43ページ)
BI460	蓄電池ユニットが長期間満充電にならなかったため、一時的に蓄電池充電上限値を「100%」にしていたが、満充電になったため、蓄電池充電上限値は元の設定に自動的に戻りました。	蓄電池充電上限値を元の設定値に戻しました。	非表示をタッチしてメッセージを閉じ、そのままご利用ください。
BI691	蓄電システムとの通信に失敗しました。 スマートフォンがインターネットに接続されていることを確認して、「再接続」をタッチしてください。 「再接続」をタッチすると本アプリを再起動し、蓄電システムと再接続します。 なお、停電が発生している場合は、本アプリを使用することはできません。 この表示を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	(メッセージなし)	詳しくは「点検コード「BI691」、「BI694」について」(57ページ)を参照してください。
BI692	専用アプリの利用登録情報が解除されました。 「専用アプリ利用登録」をタッチして、アプリを再登録してください。 この表示を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	(メッセージなし)	詳しくは「点検コード「BI692」について」(57ページ)を参照してください。
BI693	蓄電システムとの通信に失敗しました。 以下を確認し、しばらくしてから「再接続」をタッチしてください。 「再接続」をタッチすると本アプリを再起動し、蓄電システムと再接続します。 ● 室内リモコンの電源が ON になっていることを確認してください。 ● 室内リモコンの通信状態画面で「見守りサーバ接続」が「OK」になっていることを確認してください。 ● 停電が発生していないか確認してください。 停電が発生している場合は、本アプリを使用することはできません。 なお、室内リモコンを交換した場合は、専用アプリ利用登録の再実施が必要です。 「専用アプリ利用登録」をタッチして、アプリを再登録してください。 この表示を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	(メッセージなし)	詳しくは「点検コード「BI693」について」(57ページ)を参照してください。
BI694	蓄電システムとの通信に失敗しました。 スマートフォンがインターネットに接続されていることを確認して、「再接続」をタッチしてください。 「再接続」をタッチすると本アプリを再起動し、蓄電システムと再接続します。 この表示を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	(メッセージなし)	詳しくは「点検コード「BI691」、「BI694」について」(57ページ)を参照してください。

点検コード「BE303」、「BE304」について

自動開閉器内のセンサが異常を感知すると、点検コード「BE303」もしくは「BE304」を表示します。表示された場合は、以下の手順に従って操作してください。

- ① 自動開閉器の「復帰ボタン」を1回短押し^{*1}して、「状態表示LED」が緑点灯または赤点灯したことを確認してください。
- ② 室内リモコンもしくは専用アプリからハイブリッド蓄電システムを再起動してください。(51 ページ)

■ 画面例

<p>● 専用アプリ</p> 	<p>● 室内リモコン</p> <table border="1"><tr><td data-bbox="375 392 598 504">点検コード BE303 蓄電システムを 再起動してください。</td><td data-bbox="606 392 829 504">点検コード BE303 機種名:ESS-E2MJ 機種No:NF-100001WEQ</td><td data-bbox="837 392 1053 504">点検コード BE303 再起動は[設定] ブザー消音は[V] を押してください。</td></tr></table>	点検コード BE303 蓄電システムを 再起動してください。	点検コード BE303 機種名:ESS-E2MJ 機種No:NF-100001WEQ	点検コード BE303 再起動は[設定] ブザー消音は[V] を押してください。	<p>■ 自動開閉器</p>  <p>復帰ボタン 1回短押し^{*1}してください。</p> <p>状態表示 LED 緑点灯:系統運転 赤点灯:自立運転 緑赤点滅(0.2秒間隔):故障^{*2} 緑赤点滅(2秒間隔):診断中^{*1}</p>
点検コード BE303 蓄電システムを 再起動してください。	点検コード BE303 機種名:ESS-E2MJ 機種No:NF-100001WEQ	点検コード BE303 再起動は[設定] ブザー消音は[V] を押してください。			

重要

停電時に雷等の何らかの外的要因によりセンサが過剰に反応することで、点検コード「BE303」もしくは「BE304」が発生して、ハイブリッド蓄電システムが停止する場合があります。その場合、停電時運転に切り替わらず、ご家庭に電気を供給することができません。

復帰には自動開閉器や各種ブレーカの操作が必要となりますので、以下の手順に従って操作してください。

- ① 「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」を「OFF」にしてください。(46 ページ)
- ② 自動開閉器の「復帰ボタン」を1回短押し^{*1}してください。
- ③ 室内リモコンからハイブリッド蓄電システムを再起動してください。(51 ページ)
- ④ ①で「OFF」にしたブレーカをすべて「ON」にしてください。

- ※ 1: 復帰ボタンは5秒以上長押ししないでください。長押しすると、自動開閉器が診断動作に切り替わり、状態表示LEDが緑赤点滅(2秒間隔)します。その場合は、再度復帰ボタンを1回短押ししてください。
- ※ 2: 点検コード発生中は自動開閉器の状態表示LEDが緑赤点滅(0.2秒間隔)します。

点検コード「BF405」について

蓄電池ユニットが指定温度範囲^{※1}を感知すると、点検コード「BF405」を表示しますが、指定の温度条件外^{※1}になると自動的に復帰するため、エラー解除の操作は必要ありません。

蓄電池ユニットの周りに放熱を妨げる毛布などが覆いかぶさっていないか確認してください。

※1: 指定温度範囲は以下のとおりです。

温度範囲 ^{※2}	温度検知時の動作
55℃以上	「BF405」表示
49℃以下	「BF405」解除

■ 画面例

<p>● 専用アプリ</p> <p>点検コード: BF405</p> <p>蓄電池ユニットの温度が動作範囲外となりました。 蓄電池ユニット周囲の温度や環境を確認してください。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。</p> <p>機種名 : ESS-E2MJ 製造番号 : NF-100001WEQ</p> <p>非表示</p>	<p>● 室内リモコン</p> <table border="1"> <tr> <td>点検コード BF405 蓄電池ユニットの温度が動作範囲外となりました。</td> <td>点検コード BF405 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ</td> <td>点検コード BF405 ブザー消音は[V] を押してください。</td> </tr> </table>	点検コード BF405 蓄電池ユニットの温度が動作範囲外となりました。	点検コード BF405 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ	点検コード BF405 ブザー消音は[V] を押してください。
点検コード BF405 蓄電池ユニットの温度が動作範囲外となりました。	点検コード BF405 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ	点検コード BF405 ブザー消音は[V] を押してください。		

※2: 機器内部で検出した温度となります。

点検コード「BF404」について

点検コード「BF404」は、蓄電池ユニットの蓄電池残量が0%よりさらに低下している場合にお知らせします。発生した際に通常時か停電時かで対応が異なりますので、状況に応じて以下を参照してください。

- 通常時の場合: 運転モードを自動的に「蓄電池充電」に切り替えて、点検コードが解除されるまで充電を行います。
- 停電時の場合: 「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(44 ページ)に従ってください。

■ 画面例

<p>● 専用アプリ</p> <p>点検コード: BF404</p> <p>蓄電池ユニットの電圧が低下しています。</p> <p>蓄電池保護のため、自動的に運転モードを蓄電池充電に設定し、蓄電池ユニットへの充電を開始します。 充電中は他の運転モードに変更できません。 充電が完了すると、蓄電池充電が設定される直前の運転モードに切り替わります。</p> <p>機種名 : ESS-E2MJ 製造番号 : NF-100001WEQ</p> <p>非表示</p>	<p>● 室内リモコン</p> <table border="1"> <tr> <td>点検コード BF404 蓄電池ユニットへの充電が必要です。</td> <td>点検コード BF404 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ</td> <td>点検コード BF404 ブザー消音は[V] を押してください。</td> </tr> </table>	点検コード BF404 蓄電池ユニットへの充電が必要です。	点検コード BF404 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ	点検コード BF404 ブザー消音は[V] を押してください。
点検コード BF404 蓄電池ユニットへの充電が必要です。	点検コード BF404 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ	点検コード BF404 ブザー消音は[V] を押してください。		

点検コード「BF306」について

点検コード「BF306」は、自動開閉器の温度が動作範囲を超えている場合にお知らせします。温度が動作範囲に戻ると、自動的に復帰します。

10分程度経過しても自動復帰しない場合は、自動開閉器の「復帰ボタン」を1回短押し^{※1}してください。

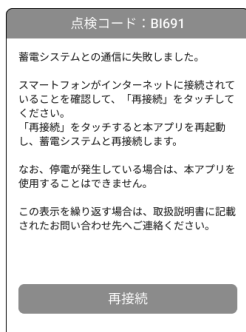
■ 画面例

<p>● 専用アプリ</p> <p>点検コード: BF306</p> <p>自動切替開閉器の温度が上昇したため、安全のため自動切替開閉器を遮断しました。 自動切替開閉器の復帰ボタンを1回短押ししてください。 復帰ボタンを押しても自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。</p> <p>機種名 : ESS-E2MJ 製造番号 : NF-100001WEQ</p> <p>非表示</p>	<p>● 室内リモコン</p> <table border="1"> <tr> <td>点検コード BF306 自動切替開閉器を遮断しました。</td> <td>点検コード BF306 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ</td> <td>点検コード BF306 ブザー消音は[V] を押してください。</td> </tr> </table>	点検コード BF306 自動切替開閉器を遮断しました。	点検コード BF306 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ	点検コード BF306 ブザー消音は[V] を押してください。	<p>■ 自動開閉器</p>  <p>復帰ボタン 10分程度経過しても自動復帰しない場合は、1回短押し^{※1}してください。</p> <p>状態表示 LED 緑点灯: 系統運転 赤点灯: 自立運転 緑赤点滅 (0.2秒間隔): 故障^{※2} 緑赤点滅 (2秒間隔): 診断中^{※1}</p>
点検コード BF306 自動切替開閉器を遮断しました。	点検コード BF306 機種名: ESS-E2MJ 機種No: NF-100001WEQ	点検コード BF306 ブザー消音は[V] を押してください。			

※1: 復帰ボタンは5秒以上長押ししないでください。長押しすると、自動開閉器が診断動作に切り替わり、状態表示LEDが緑赤点滅(2秒間隔)します。その場合は、再度復帰ボタンを1回短押ししてください。

※2: 点検コード発生中は自動開閉器の状態表示LEDが緑赤点滅(0.2秒間隔)します。

点検コード「BI691」、「BI694」について



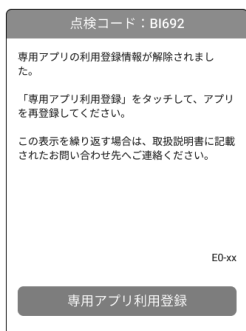
専用アプリが室内リモコンと通信できない場合、点検コード「BI691」もしくは「BI694」を表示します。

スマートフォンがインターネットに接続されていることを確認して、「再接続」をタッチしてください。「再接続」をタッチすると本アプリを再起動し、ハイブリッド蓄電システムと再接続します。繰り返し表示される場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。

メモ

- 停電中はルーターに電源が供給されている場合に限り、ハイブリッド蓄電システムと接続が可能になります。なお、ルーターがインターネットに接続できない場合、専用アプリはハイブリッド蓄電システムと接続できません。

点検コード「BI692」について



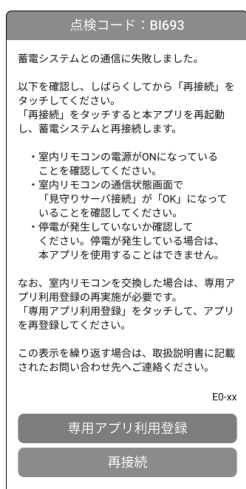
専用アプリの利用登録情報が何らかの原因で消失した場合、点検コード「BI692」を表示します。表示された場合は、「専用アプリ利用登録」をタッチしてアプリを再登録して下さい。利用登録の詳細は「専用アプリの設定について」(16ページ)を参照してください。

繰り返し表示される場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。

メモ

- 「BI692」が解消されると、復旧したことを示す点検コード「BC576」がお知らせリストに記録されます。

点検コード「BI693」について



専用アプリが室内リモコンと通信できない場合、点検コード「BI693」を表示します。表示された場合は、以下の内容を確認し、しばらくしてから「再接続」をタッチしてください。

- 室内リモコンの電源が ON になっていることを確認してください。(14ページ)
- 室内リモコンの通信状態画面で「見守りサーバ接続」が「OK」になっていることを確認してください。(41ページ)

「再接続」をタッチすると本アプリを再起動し、ハイブリッド蓄電システムと再接続します。

繰り返し表示される場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。

メモ

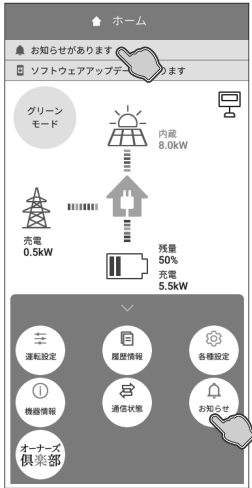
- 停電中はルーターに電源が供給されている場合に限り、ハイブリッド蓄電システムと接続が可能になります。なお、ルーターがインターネットに接続できない場合、専用アプリはハイブリッド蓄電システムと接続できません。
- 「BI693」が表示された際に、室内リモコンで点検コード「BC551」がお知らせリストに記録される場合があります。お知らせリストに点検コードが記録された場合は、「点検コード「BC551」について」(60ページ)の処置に従ってください。
- 室内リモコンの修理・交換を行った際にも表示される場合があります。その場合は、「専用アプリ利用登録」をタッチしてアプリを再登録してください。利用登録の詳細は「専用アプリの設定について」(16ページ)を参照してください。
- 「BI693」が解消されると、復旧したことを示す点検コード「BC573」がお知らせリストに記録されます。

お知らせリストを表示する

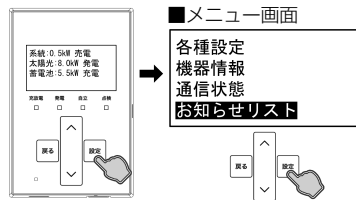
表示済みの点検コードや、お客様に対しハイブリッド蓄電システムの動作や障害に関するお知らせが発生したときは、お知らせリストに記録されます。お知らせリストは、専用アプリまたは室内リモコンで確認することができます。

1 「お知らせ情報」または「お知らせ」（室内リモコンは「設定」）をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

「お知らせリスト」画面に切り替わります。

● 室内リモコンの場合

メニュー画面で「お知らせリスト」を選択し「設定」をタッチすると、「お知らせリスト」画面に切り替わります。

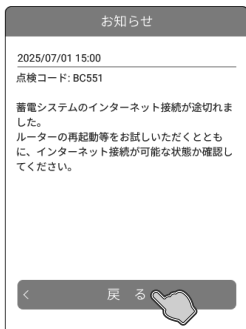


メモ

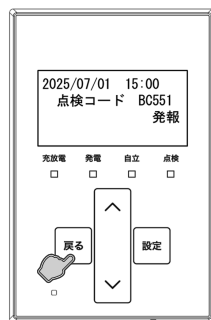
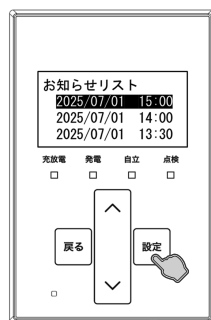
- 「上/下」をタッチするとスクロール表示して選択できます。

2 お知らせリストに記録された内容を確認する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

お知らせリストの「日時」または「イベント」をタッチすると「お知らせ」画面に切り替わります。選択したメッセージと内容を確認し、「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。ナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。



メモ

- メッセージを表示すると既読となります。未読のお知らせは黒で、既読のお知らせはグレーで表示します。
- お知らせリストは最大100件のお知らせを表示できます。

● 室内リモコンの場合

お知らせリストから選択して「設定」をタッチすると、点検コードが表示されます。点検コードを確認して「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。



メモ

- メッセージ本文は室内リモコンには表示されません。専用アプリ、もしくは取扱説明書(52、59ページ)で確認してください。
- 「上/下」をタッチするとスクロール表示して選択できます。「戻る」をタッチすると一つずつ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

お知らせメッセージと内容など

点検コード	専用アプリメッセージ	処置
BC094	蓄電システムのファームウェアの更新を行いました。	ハイブリッド蓄電システムのソフトウェアが更新された場合に記録されます。
BC096	運転停止中 運転が停止されました。	ハイブリッド蓄電システムが運転停止した場合に記録されます。 運転停止状態で放置されると蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。ハイブリッド蓄電システムを運転停止した際は、速やかにハイブリッド蓄電システムを起動させ、運転状態にしてください。（49 ページ）
BC097	蓄電システムの性能維持のため定期的な自動メンテナンスを実行しています。 実行中は通常とは異なる運転を行いますが、終了するまでそのままお待ちください。 なお、メンテナンス中は各種設定項目の変更ができません。 また、何らかの要因によってメンテナンスが中止された場合は、翌日の午前 1:00 に再度実施されます。 詳しくは取扱説明書を確認してください。	詳しくは「蓄電池ユニットのメンテナンスモードについて」（62 ページ）を参照してください。
BC098	自動メンテナンスが終了しました。 自動メンテナンス開始前の自動運転モードに切り替わります。	メンテナンスモードが終了した時に記録されます。
BC457	蓄電システムのファームウェアの更新を行いました。	ハイブリッド蓄電システムのソフトウェアが更新された場合に記録されます。
BC465	蓄電池ユニットの残量を調整しています。 調整が完了するまで、しばらくお待ちください。 調整が完了すると、調整開始前の運転モードに切り替わります。 なお、調整中に運転モードを変更した場合は、直ちに変更せずに調整完了後に動作します。	蓄電池ユニットを増設した場合に記録される場合があります。 調整が完了するまで、しばらくお待ちください。
BC525, BC548	ソフトウェアの更新に失敗しました。	ハイブリッド蓄電システムのソフトウェアの更新に失敗した場合に記録されます。
BC551	蓄電システムのインターネット接続が途切れしました。 ルーターの再起動等をお試しいただくとともに、インターネット接続が可能な状態か確認してください。	詳しくは「点検コード「BC551」について」（60 ページ）を参照してください。
BC554, BC555	蓄電システムのファームウェアの更新を行いました。	ハイブリッド蓄電システムのソフトウェアが更新された場合に記録されます。
BC556	室内リモコンをシャットダウンしました。	室内リモコンの電源スイッチを「OFF」にした場合に記録されます。
BC557, BC558, BC559	蓄電システムのファームウェアの更新を行いました。	ハイブリッド蓄電システムのソフトウェアが更新された場合に記録されます。
BC562	蓄電システムのインターネット接続が途切れしました。 ルーターの再起動等をお試しいただくとともに、インターネット接続が可能な状態か確認してください。	詳しくは「点検コード「BC562」について」（60 ページ）を参照してください。
BC563	蓄電システムのファームウェアの更新を行いました。	ハイブリッド蓄電システムのソフトウェアが更新された場合に記録されます。
BC564	ソフトウェアの更新に失敗しました。	ハイブリッド蓄電システムのソフトウェアの更新に失敗した場合に記録されます。
BC565	電力会社サーバ通信に障害が発生しています。 ネットワーク配線、ルータ設定等をご確認ください。 このメッセージが表示された場合は取扱説明書をご確認ください。	電力会社サーバへの通信に障害がある場合に記録されます。 専用アプリまたは室内リモコンからハイブリッド蓄電システムの「通信状態」画面を確認し、インターネット接続が可能な状態か確認してください。（42 ページ）
BC566	（メッセージなし）	電力会社サーバとの通信が回復した場合に記録されます。

点検コード	専用アプリメッセージ	処置
BC567	日時の設定がクリアされました。 非表示をタッチしてメッセージを閉じてから、日時の再設定を行ってください。	メッセージの指示に従い、日時設定を行ってください。
BC568	(メッセージなし)	室内リモコンとルーター間の通信が回復した場合に記録されます。
BC569	(メッセージなし)	見守りサーバーとの通信が回復した場合に記録されます。
BC573, BC576	蓄電システムとの通信に成功しました。	ハイブリッド蓄電システムと専用アプリ間の通信が回復した場合に記録されます。

点検コード「BC551」について

室内リモコンがルーターと通信できない状況が継続すると、点検コード「BC551」がお知らせリストに記録されます。本点検コードが発生すると、ニチコンのネットワークサービスやソフトウェア更新のサービスなどがご利用できません。また、専用アプリとの接続ができなくなります。

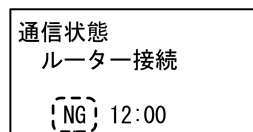
お知らせリストに本点検コードが記録された際は、以下の内容を確認してください。

- LAN ケーブルを使用している場合は、LAN ケーブルを確認してください。コネクタ抜けがある場合は、接続し直してください。破損している場合は、LAN ケーブルの交換が必要となります。
- ルーターの電源が OFF の場合は ON にしてください。
- ルーターの状態や設定に問題が無いか確認してください。設定について詳しくはルーターの取扱説明書をご確認ください。
- 室内リモコンのネットワーク設定に問題が無いか確認してください。(「ネットワークの設定【室内リモコンのみ】」(40ページ) 参照)

いずれの操作でも復旧しない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。

通信が復旧すると、「通信状態」画面(42ページ)のルーター接続の接続判定が「OK」と表示されます。また、復旧したことを示す点検コード「BC568」がお知らせリストに記録されます。

■「通信状態」画面例(室内リモコン)



通信が復旧すると「OK」と表示されます。

点検コード「BC562」について

室内リモコンがインターネット経由で見守りサーバーと通信できない状況が継続すると、点検コード「BC562」がお知らせリストに記録されます。本点検コードが発生すると、ニチコンのネットワークサービスやソフトウェア更新のサービスなどがご利用できません。

お知らせリストに本点検コードが記録された際は、以下の内容を確認してください。

- ルーターの状態や設定に問題が無いか確認してください。設定について詳しくはルーターの取扱説明書をご確認ください。
- ネットワーク障害が発生している場合は、障害が回復するまでお待ちください。

いずれの操作でも復旧しない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。

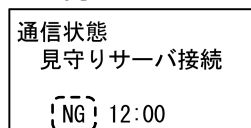
通信が復旧すると、「通信状態」画面(42ページ)の見守りサーバ接続の接続判定が「OK」と表示されます。また、復旧したことを示す点検コード「BC569」がお知らせリストに記録されます。

■「通信状態」画面例

●専用アプリ



●室内リモコン

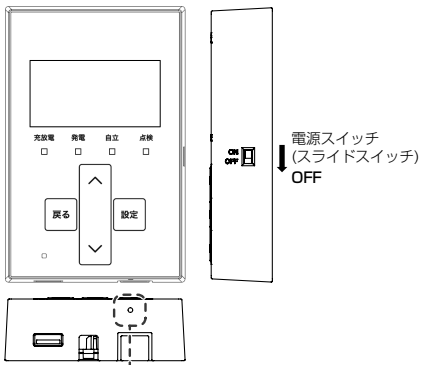


通信が復旧すると「OK」と表示されます。

室内リモコンが動かなくなったとき【室内リモコンのみ】

室内リモコンが動かなくなったときは、以下の手順に従って室内リモコンを再起動してください。

1 室内リモコンの電源スイッチを「OFF」にする



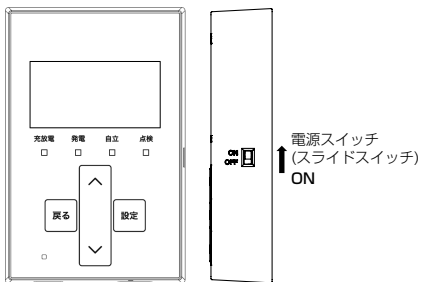
電源がOFFにならなかった場合は、ペン先などで「リセット」ボタンを押す

室内リモコンの電源スイッチを「OFF」にすると、数秒で室内リモコンの電源がOFFになります。室内リモコンの電源がOFFにならなかった場合は、電源スイッチを「OFF」にした状態のまま、ペン先などで「リセット」ボタンを押してください。

メモ

- 数秒で室内リモコンの電源がOFFになった場合は、「リセット」ボタンを押す必要はありません。
- 室内リモコンの電源がOFFになると、ハイブリッド蓄電システムは運転を停止します。
- 室内リモコンの電源スイッチが「ON」の状態ですべてのリセットボタンを押しても、室内リモコンのリセットは行いません。

2 室内リモコンの電源スイッチを「ON」にする



室内リモコンの電源スイッチを「ON」にすると、ハイブリッド蓄電システムとの通信が確認でき次第「ホーム」画面に切り替わります。

メモ

- 室内リモコン起動中およびハイブリッド蓄電システム通信確認中は、室内リモコンの電源を「OFF」しないでください。
- 室内リモコンの電源をONにしても動かないままの場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

ハイブリッド蓄電システムを廃棄する場合

本製品の使用を終了した後は、適切な方法ですみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

廃棄費用はお客様負担となります。

風水害または地震などの対応

- 風水害により水没のおそれがあるときは、あらかじめ本システムの運転を停止させて、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。(47 ページ)
- 水没した場合は、本システムを停止させた状態で、お買い上げの販売会社までご連絡ください。
- 地震により点検コードが表示されるなどの異常が発生した場合は、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

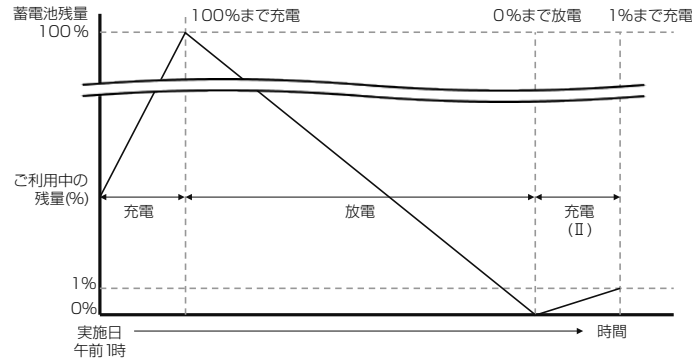
蓄電池ユニットのメンテナンスモード（自動点検）について

メンテナンスモードとは、蓄電池ユニットの性能維持のため、自動的に点検するモードです。自動運転モードの充放電時間帯（24 ページ）の設定に関係なく、メンテナンスモード実施日（63 ページ）の午前 1 時から開始します。

メンテナンスモードは、[充電]*¹ → [放電]*² → [充電（Ⅱ）]*³ の順番で充放電動作を行います。メンテナンスモード完了後は、メンテナンスモード開始前の自動運転モードに戻ります。

- ※ 1: [充電] 動作は、蓄電池充電上限値の設定に関係なく、蓄電池残量 100% まで充電を行います。
- ※ 2: [放電] 動作は、蓄電池放電下限値の設定に関係なく、蓄電池残量 0% まで放電を行います。
- ※ 3: [充電（Ⅱ）] 動作は、蓄電池過放電防止のため、蓄電池残量 1% まで充電します。

■ メンテナンスモード動作時イメージ



■ メンテナンスモード実施中のホーム画面例

● 専用アプリ

● 室内リモコン

■ お知らせメッセージ画面例

● 専用アプリ

● 室内リモコン

メモ

- 蓄電池ユニットの性能維持のため、メンテナンスモード実施中は、ハイブリッド蓄電池システムの運転モードを「蓄電池充電」にしたり運転停止にしないでください。メンテナンスモード実施中にそれらの操作を行うと、メンテナンスモードを中止します。
- メンテナンスモード実施中に運転モードを「グリーンモード」または「売電モード」に設定すると、メンテナンスモードは中止にならず、メンテナンスモード完了後に設定されたモードで動作します。
- メンテナンスモード実施中も普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。
- メンテナンスモードの充電動作中に太陽光発電電力がない場合や不足している場合は、その分を電力会社から買電（お客様負担）します。買電にて充電した電力は放電の際にご家庭内にて使用されます。
- メンテナンスモード実施中は、放電下限値の設定に関わらず、蓄電池残量 0% まで放電を行います。メンテナンスモード実施中に停電が発生した場合はメンテナンスモードを中断するため、蓄電池残量が設定した下限値を下回っている可能性があります。停電中に蓄電池残量がゼロになると、太陽光発電電力が得られない場合、本製品を利用することはできません。
- メンテナンスモード実施中に太陽光発電が充電中の場合は、蓄電池ユニットから放電しません。
- メンテナンスモード実施中は蓄電池容量の計測のため、蓄電池残量が 100% もしくは 0% で表示後も充放電を数十分程度継続したり、蓄電池残量の表示が大きく更新される場合があります。
- メンテナンスモード完了直後は蓄電池残量 1% となっています。蓄電池ユニットへ直ちに充電したい場合は、運転モードを「蓄電池充電」に設定することで蓄電池ユニットに早く電気を貯めることができます。
- メンテナンスモード完了のためには、家庭内で最低 200W（推奨）以上の電力消費が必要です。ご家庭内の消費電力が少ない場合は、メンテナンスモード完了まで 2～3 日かかる場合があります。
- メンテナンスモード実施中は、「お知らせリスト」に「BC097」が記録されます。メンテナンスモードが完了すると、「お知らせリスト」に点検コード「BC098」を記録します。メッセージ内容は専用アプリでご確認ください。

メンテナンスモードの実施日について

- メンテナンスモードは年1回自動で、4月11日～4月20日のうち、システム製造番号の数字部分下1桁目の数字と同じ日付で実施します。「実施希望日」を設定することで、4月11日～4月30日の期間内で実施日を変更することができます。
- メンテナンスモードの実施期限は、メンテナンスモードの「実施希望日」から30日間です。
- メンテナンスモードが何らかの要因によって中止された場合やメンテナンスモード開始時にハイブリッド蓄電システムが運転を停止している場合は、翌日の午前1時に再実施します。実施期限内はメンテナンスモードが完了するまで再実施を繰り返します。
- 実施期限内にメンテナンスモードが完了しなかった場合は、メンテナンスモードを中止し、同年の9月にリトライされます。
- リトライする9月のメンテナンスモードは、9月21日～9月30日のうち、システム製造番号の数字部分下1桁目の数字と同じ日付で実施します。4月と同様に「実施希望日」を設定することで、9月21日～10月10日の期間内で実施日を変更することができます。
- 実施日を変更したい場合は、メンテナンスモードの「実施希望日」(32ページ)を変更してください。自動設定される実施日例は以下のとおりです。

システム製造番号※1例	自動設定される実施日例	
	4月の場合	リトライで9月に実施する場合
NF-100087WEQ	4月17日に実施	9月27日に実施
NF-100240WEQ	4月20日に実施	9月30日に実施

※1: システム製造番号は、「機器情報について」(31ページ)を参照してください。

メモ

- ハイブリッド蓄電システム設置初年度はメンテナンスモードの実施はありません。
- 蓄電池ユニットのサービス対応を行った際にも機器の状態確認のため、設定されているメンテナンスモードの実施日に関係なく、メンテナンスモードを強制的に行う場合があります。

メンテナンスモード停止条件

以下の条件となった場合、メンテナンスモードは停止します。

- ハイブリッド蓄電システムを「蓄電池充電」で運転している場合
- メンテナンスモード実施中にハイブリッド蓄電システムの運転モードを「蓄電池充電」に変更した場合
- 点検コードが発報した場合 (BExxx または BFxxx)
- 停電が発生した場合
- ハイブリッド蓄電システムを手動で運転停止した場合
- 蓄電池ユニットの温度が55℃以上または10℃未満となった場合

メンテナンスモードが完了しない場合、蓄電池ユニットが正常に動作しなくなる場合があります。

<メンテナンスモード後に点検コード「BI417」、「BI418」が表示された場合>

蓄電池ユニットの充放電可能な容量が低下（蓄電池容量：劣化60%未満に到達）すると、点検コード「BI417」を繰り返し表示してお知らせします。

その後充放電可能な容量の下限値まで低下（蓄電池容量：劣化50%未満に到達）すると、点検コード「BI418」を表示し、ハイブリッド蓄電システムは蓄電池ユニットの充放電を停止して動作を継続します。

蓄電池ユニットの交換をご希望の場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

また、ハイブリッド蓄電システムが蓄電池ユニットの充放電を停止した状態で動作している間は、蓄電池ユニットの動作に関する項目が選択および設定できなくなりますのでご注意ください。

メモ

- ハイブリッド蓄電システムが蓄電池ユニットの充放電を停止した状態で動作している間は、太陽光発電の動作のみを継続します。
- 専用アプリの再起動や室内リモコンの電源をOFF→ONすると、点検コードが再度表示される場合があります。

■ 点検コード画面例

<p>● 「BI417」の場合</p> <p>・専用アプリ</p> <p>・室内リモコン</p>	<p>● 「BI418」の場合</p> <p>・専用アプリ</p> <p>・室内リモコン</p>
--	--

■ 点検コード「BI418」発生時のホーム画面例

<p>● 専用アプリ</p>	<p>● 室内リモコン</p>
----------------	-----------------

ソフトウェアの更新

ハイブリッド蓄電システムの不具合の修正や新機能の追加などのために、ソフトウェアの更新を自動で行う場合があります。ソフトウェアの更新を行う際は、専用アプリおよび室内リモコンに案内を表示します。

- 本機能は室内リモコンがインターネットに接続している場合のみ有効です。
- 本製品をインターネットに接続していないお客様でソフトウェアの更新が必要な場合は、有償での訪問対応作業が必要となります。



メモ

- ソフトウェア更新中は、本システムの充放電および太陽光発電を停止します。

更新を実施した場合

ソフトウェアの更新中は、更新終了のメッセージが表示されるまでハイブリッド蓄電システムの電源を落とさないでください。ソフトウェアの更新完了後、システムを再起動し、「ホーム」画面に戻ります。



メモ

- システムを再起動しても、運転モードや充放電時刻などの設定項目は再起動前の状態を維持しますので、再設定の必要はありません。
- システムが再起動すると、専用アプリの接続が切断されます。引き続き専用アプリを利用される場合は、再起動が完了してから再接続してください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。
販売会社からお渡しますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。
注：上記の記載がない場合には無効となることがあります。

アフターサービスについて

ご不明点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。また、機器や設置した建物の所有者の変更による機器の取り扱いについては、事前に販売会社にお問い合わせください。
販売元専用ダイヤルがご利用いただけない場合は、下記のニチコン株式会社のサービスセンターまたはお客様窓口にご連絡ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される場合は、次のことをご確認ください。

- お買い上げ時期
- 装置の型番と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

補修用性能部品の最低保有期間 / 修理対応期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品の製造終了から保証書に記載されている保証期間年数までとなります。
- 修理対応期間は、保証期間と同一期間とさせていただきますが、保証期間を過ぎていても修理可能な製品については、有料にて修理いたします。

移設などで機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください

お客様ご自身では移設を行わないでください。

販売元専用ダイヤル		お買い上げの販売会社にお問い合わせください
ニチコン株式会社	故障した場合の連絡先	ニチコン株式会社サービスセンター 電話 : 03-5212-9211 ファックス: 03-5211-2153 平日・土・日・祝日・休業日: 9時～18時
	製品の使用方法などに関するお問い合わせ先	ニチコン株式会社お客様窓口 電話 : 0120-215-030 メール : info-ess@nichicon.com 平日 : 9時～17時 土・日・祝日・休業日は除く

補助金に関するご注意

購入時に補助金の交付を受けた方

設置時から一定期間の使用が義務付けられています
補助金の支給を受けて本製品を購入した場合は、設置時から指定の期間、補助金の支給条件に従って本製品をご使用していただく必要があります。
設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

遠隔出力制御ルールに関するご注意

本製品は、2015年1月22日公布の再生可能エネルギー特別措置法施行規制の一部を改正する省令と関連告示に対応する機器です

再生可能エネルギーを最大限導入するために、電力会社の求めがあった場合は、遠隔出力制御を行う機器の設置が義務づけられました。省令改正に関して詳しくは、経済産業省のホームページをご参照ください。(https://www.meti.go.jp)
なお、遠隔出力制御は地域により対応が異なります。また、遠隔出力制御は電力会社の要請により実施されますので、詳しくは、各電力会社にお問い合わせください。

本製品は、電力会社の遠隔出力制御を有効にするために、インターネットへの接続が必要です

インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。なお、インターネットへ接続されない場合は、有償での訪問対応作業が必要となりますのでご注意ください。発電停止による損失は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

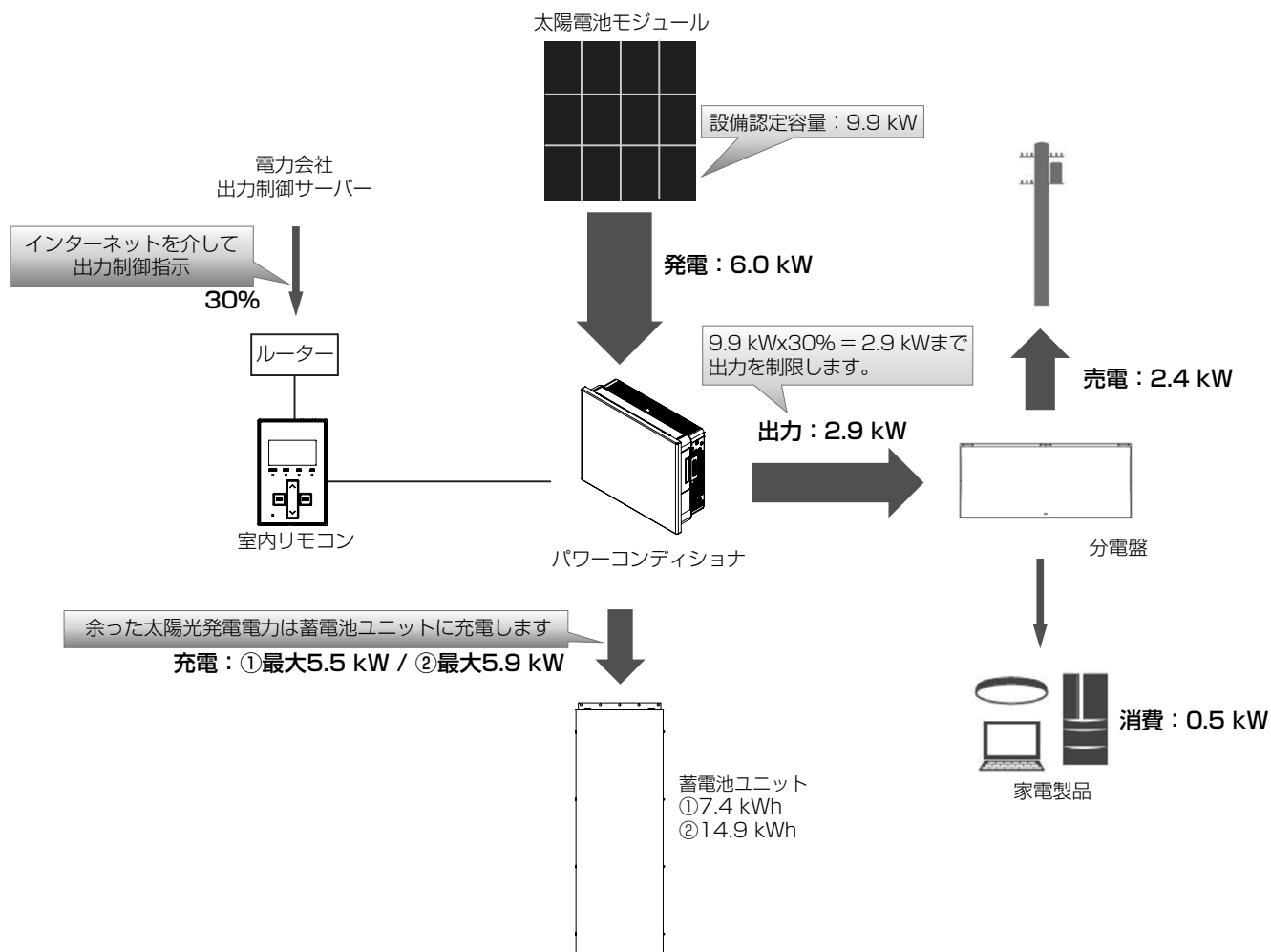
また、今後正式発表される遠隔出力制御の仕様によっては、機器のソフトウェア更新の他に、有償での対応作業が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

重要 太陽光発電の電圧上昇抑制や遠隔出力制御について

システムの様々な状況による電圧上昇抑制や、電力会社による出力制御要請により、太陽光発電の余剰電力の一部を売電できない場合があります。売電できない余剰電力は、お客様が設定した充放電時間内であれば蓄電池ユニットへ充電を行います。満充電の場合は充電しません。

■ 例：出力制御指示が30%の場合

本製品の設備認定容量の30%まで、パワーコンディショナの出力が制限されます。本製品の設備認定容量については「太陽光発電設定について」(34ページ)を参照してください。



仕様

パワーコンディショナ

型番	ES-E2J	
外形寸法	W 690 mm × H 564 mm × D 228.4 mm (取付金具・突起部含まず)	
本体質量	39 kg (取付金具含まず)	
系統連系出力	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)
	定格出力 ^{※1}	9.9 kW
	定格出力 ^{※1} (蓄電池ユニットのみの場合)	5.5 kW (ESS-E2MJ) 5.9 kW (ESS-E2XJ)
	定格出力電圧	AC 202 V ± 12 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
	定格力率	0.95
	電流歪率	総合電流歪率: 5 % 以下 (定格出力時) 各次電流歪率: 3 % 以下 (定格出力時)
自立出力	電気方式	単相 3 線式
	定格出力 ^{※1}	5.9 kVA (片相: 2.95 kVA)
	定格出力 ^{※1} (蓄電池ユニットのみの場合)	5.5 kVA (ESS-E2MJ) 5.9 kVA (ESS-E2XJ)
	定格出力電圧	AC 202 V ± 12 V / AC 101 V ± 6 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
インバータ	変換方式	連系運転時: 自励式電圧型電流制御方式 自立運転時: 自励式電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式
太陽光発電	接続方式	マルチストリング方式
	制御方式	最大電力点追従制御 (MPPT)
	入力回路数	5 回路
	開放電圧 (接続可能上限値)	DC 450 V / 1 回路 ^{※2}
	短絡電流 (接続可能上限値)	16 A / 1 回路 ^{※2}
	最大動作電流	13.5 A / 1 回路
	運転可能電圧範囲	DC 25 V ~ 450 V / 1 回路
	起動 / 停止電圧	起動時: 25 V 停止時: 20 V
変換効率 (系統連系時)	太陽光 (放電時)	95% (定格出力時) ^{※3}
	蓄電池ユニット (放電時)	95% (定格出力時)
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	
冷却方式	自然空冷方式 (内部攪拌ファンあり) ^{※4}	
不要輻射	JET 規格 7.1.2 放射妨害波試験適合 JET G0002-1-16.1(2024) ^{※5}	
運転時騒音	40dB(A) 以下 ^{※6}	
防水 / 防塵 保護等級	IP 55(水抜き穴、吸排気口を除く場合)	
設置環境	設置条件	屋外、標高 2,000 m 以下、重塩害非対応
	動作温度 ^{※7}	- 20℃ ~ +40℃

※ 1: パワーコンディショナの温度が高いときは、保護機能によりハイブリッド蓄電システムの出力を一時的に抑制することがあります。

※ 2: モジュールの温度特性および接続状態 (直並列) も含めて満足するようにしてください。これらを満足しない太陽光発電パネルは本製品に接続できません。また、1 回路あたりの接続可能容量は最大発電電力の 150% を目安としてください。

※ 3: JIS C 8961 に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。

※ 4: 動作中はパワーコンディショナ内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により音の聞こえ方が異なることがあります。

※ 5: 電波障害となる場合がありますので、ラジオ・テレビ等の電波を利用する機器とは 3 m 以上離してください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。

※ 6: JIS C 1509-1 で規定する A 特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から 1 m、高さ 1 m の距離での測定値です。

※ 7: JIS C 62477-1 で規定する高温高湿試験 (定常) における最高湿度 85% の動作温度を示します。

蓄電池ユニット

型番	ES-DYMJ	
外形寸法	W 475 mm × H 1340 mm × D 180 mm	
本体質量	120 kg	
蓄電池公称容量	ES-DYMJ : 7.4 kWh, ES-DYMJ × 2 : 14.9 kWh	
蓄電池初期実行容量	ES-DYMJ : 6.7 kWh, ES-DYMJ × 2 : 13.5 kWh (JIS C4413 による)	
電池種類	リチウムイオン電池	
電池構成	1 モジュールあたり 23 直列 1 並列 全 3 モジュール直列構成	
蓄電池定格電圧	DC 220.8 V	
蓄電池定格入力動作電圧範囲	DC 200.1 V ~ 248.4 V	
防水 / 防塵 保護等級	IP55	
設置環境	設置条件	屋内外 ^{*1} 、標高 2,000 m 以下、重塩害非対応 - 10℃ ~ +40℃
	動作温度 ^{*2}	

※ 1: 日射が長時間当たる場所には設置できません。

※ 2: JIS C 62477-1 で規定する高温高湿試験 (定常) における最高湿度 85% の動作温度を示します。

蓄電池ユニットの充放電仕様について

本製品はハイブリッド蓄電システムの型番により、蓄電池ユニットの容量および動作仕様が異なります。構成により充放電可能な電力が変わりますので、家電製品を接続される際は、仕様を確認のうえ使用してください。

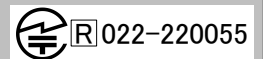
電池容量	システム機種名	蓄電池ユニット型番	連系時仕様			停電時仕様	
			充電電力 ^{*1}	放電電力 ^{*1}	充電時間 (目安)	充電電力 ^{*1}	放電電力 ^{*1}
7.4 kWh	ESS-E2MJ	ES-DYMJ	5.5 kW	5.5 kW	1.8 時間	5.5 kW	5.5 kW
14.9 kWh	ESS-E2XJ	ES-DYMJ × 2	5.9 kW	5.9 kW	2.9 時間	5.9 kW	5.9 kW

※ 1: 動作温度範囲内であっても、蓄電池保護のため、充放電電力が低下する場合があります。また、満充電付近になると、充電電力が低下します。

自動開閉器 (自動切替開閉器)

型番	ES-B9E	
外形寸法	W 76 mm × H 160 mm × D 71 mm	
本体質量	880 g	
設置環境	設置条件	屋内 (結露なきこと) - 5℃ ~ +40℃
	動作温度	

室内リモコン



型番	ES-R8J	
外形寸法	W 85 mm × H 130 mm × D 29 mm	
本体質量	190 g	
設置環境	設置条件	屋内 (結露なきこと) 0℃ ~ +40℃
	動作温度	

ハイブリッド蓄電システムの使用温度範囲について

ハイブリッド蓄電システムを安全に動作させるため、パワーコンディショナ、蓄電池ユニットおよび室内リモコンがそれぞれ指定の温度を検知した場合、ハイブリッド蓄電システムの動作に制限がかかります。

	温度範囲 ^{※1}	制限内容									
パワーコンディショナ	-20℃～+40℃	温度が使用範囲外になると待機状態もしくは点検コード ^{※2} を発報します。 なお、温度範囲の上限付近になると、パワーコンディショナ保護のため、充放電電力が低下する場合があります。									
蓄電池ユニット	-10℃～+40℃	温度が使用範囲外になると待機状態もしくは点検コード ^{※2} を発報します。 なお、蓄電池ユニットの使用温度範囲内であっても、蓄電池保護のため、充放電電力が指定値まで低下する場合があります（下表参照）。 その場合には、蓄電池ユニットへの充電電力が制限されるため、余剰電力の一部が蓄電池ユニットに充電できず売電されることがあります。									
		<table border="1"><thead><tr><th>使用温度</th><th>充電電力</th><th>放電電力</th></tr></thead><tbody><tr><td>+40℃付近</td><td>3.3 kW</td><td>4.5 kW</td></tr><tr><td>-10℃付近</td><td>1.6 kW</td><td>2.0 kW</td></tr></tbody></table>	使用温度	充電電力	放電電力	+40℃付近	3.3 kW	4.5 kW	-10℃付近	1.6 kW	2.0 kW
		使用温度	充電電力	放電電力							
+40℃付近	3.3 kW	4.5 kW									
-10℃付近	1.6 kW	2.0 kW									
室内リモコン	0℃～+40℃	温度が使用範囲外になると、室内リモコンが操作できなくなり、ハイブリッド蓄電システムの運転が停止する場合があります。 その際は室内リモコンの設置場所の温度を範囲内に抑えるようにしてください。									

※1: 機器内部で検出した温度となります。

※2: 詳しくは、「点検コードのメッセージと処置」(52 ページ) を参照してください。

ソフトウェアライセンスについて

Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社ユビキタス AI コーポレーションが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。

オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておませんが、本製品については保証書記載の条件により、ニチコン株式会社による保証がなされています。

GPL/LGPL のライセンスについては、https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html をご覧ください。

増設設置の可能期間

パワーコンディショナ設置後の蓄電池ユニット(2 台目後増設を含む)の追加設置は、2034 年 12 月まで可能です。(同等品の商品ご提供となる場合があります。)

- 保証期間は、各商品の保証期間となります。
- 増設設置後のシステム機種名^{※1}は、製品の組み合わせにより自動的に切り替わります。

	システム機種名 ^{※1} (変更前)	システム機種名 ^{※1} (変更後)
蓄電池ユニット(7.4 kWh)を増設設置した場合	ES-E2J	ESS-E2MJ
蓄電池ユニット(14.9 kWh)を増設設置した場合		ESS-E2XJ

※1: システム機種名については「機器情報について」(31 ページ) を参照してください。

製造元：

nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒 604-0845

<https://www.nichicon.co.jp>



ニチコンオーナーズ倶楽部

<https://owners.nichicon.co.jp>



ニチコンネットワークサービスについて

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf/network_service_manual.pdf



取扱説明書電子版・専用アプリの入手はこちら

<https://www.nichicon.co.jp/products/ess/e2/ichijo>



ICHIJO

Technological Homes